

第15章 東中学校西遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東中学校西遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川とさかい川の間の標高は20.0～21.0mの低位台地に位置する。現在は平坦であるが、区画整理事業以前は遺跡の北側に、西から北東側にかけて埋没河川(現在用水路)が流れ、東側には僅かな窪地もみられた。

遺跡は埋没河川と窪地の縁に位置するが、遺構は埋没河川からやや離れた遺跡の中央部から西部にかけて分布する。周辺の遺跡は、前述した埋没河川を隔てた北側約50mに東久保西遺跡、南東に東久保南遺跡が隣接する。

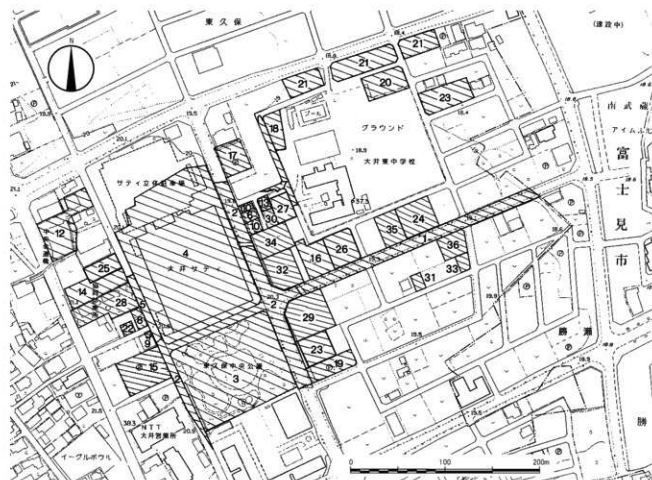
遺跡の時期は縄文時代では早期の戸穴群、縄文時代中期前葉の屋外埋甕、落とし穴や集石土坑などを検出している。中・近世では墓塚・溝・柵列などが確認されている。本遺跡の調査は1995年以来2018年4月現在、35ヶ所で試掘調査および発掘調査が行われている。

II 東中学校西遺跡第36地点

(1) 調査の概要

調査は駐車場造成に伴うもので、原因者より2015年7月7日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年8月11日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.3mのトレンチ5本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約50cmである。

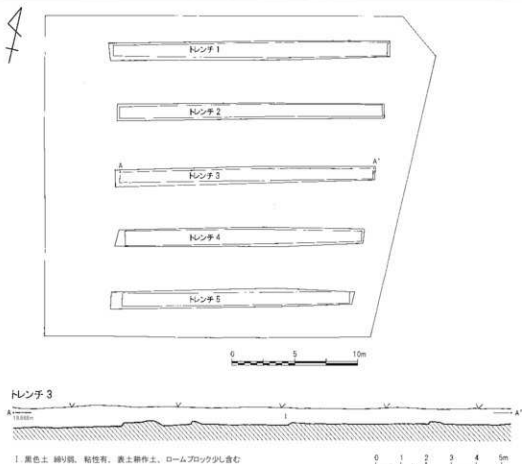
調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第65図 東中学校西遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第40表 東中学校西遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間(1) 1次調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保5311、526、531 他	1994.10.6~11.9 (A区)1996.10.7~11.15 (B区)1996.12.10~17 (C区)1997.3.5~19	3,168	区画整理道路	縄文:土坑1、ピット8	遺跡調査報告書第14集
2	東久保466-1他	(A区)1996.10.7~11.15 (B区)1996.12.10~17 (C区)1997.3.5~19 (D区)1997.6.12~19 (E区)1997.7.8~8.8 (F区)1996.1.18~31 (G区)1996.1.25	3,308 1,168 880	区画整理道路	縄文早期:伊726、礫石土坑1、溝とし穴4、土坑2、ピット26、中辺野の溝5	遺跡調査報告書第14集
3	東久保465、500他	(1996.8.29~9.13)1996.10.7~21	10,200	区画整理公園	縄文:溝とし穴1、溝1、土坑6、ピット4、石敷1	町内遺跡調査報告書第14集 町内遺跡調査報告書第14集
4	東久保326他	(1997.2.6~10.29)1997.6.12~8.8	24,681	店 舗	縄文:溝とし穴3、礫石土坑2、厚石埋溝1、古溝1、土坑1、溝9、溝11、ピット2等	町内遺跡調査報告書第14集 遺跡調査報告書第14集
5	東久保487-1、474-4他	1997.6.12~24	688	区画整理道路	縄文早期:伊766、溝とし穴1、溝2、ピット2	町内遺跡調査報告書第14集
6	東久保325-1、7-9-9	(1997.6.26~27)	135.62	事務所	遺構遺物なし	町内遺跡調査
7	東久保402-1他	1997.7.21~31	6.56	区画整理道路	溝1、ピット5	町内遺跡調査
8	東久保44街区13-14跡地	1997.8.5~9	251.94	個人住宅	縄文:溝とし穴1、溝1、ピット9、溝とし穴12第5 弥生(古瓦)	町内遺跡調査
9	東久保45街区2・3面跡	(1997.8.19~9.1)	324.7	個人住宅	溝2、ピット9	町内遺跡調査
10	東久保42街区1面跡	(1997.12.10~20)	135.19	店 舗	遺構遺物なし	町内遺跡調査
11次	東久保44街区3・23・24面跡	(1998.1.6~24)	1,879	店 舗	遺構遺物なし	町内遺跡調査
12	東久保2街区13面跡	(1998.6.9~11)	218	専用住宅	ピット1	町内遺跡調査
13	東久保44街区11・20・26面跡	(1998.6.23~26)	1,231	共用住宅	ピット2、厚石埋溝	町内遺跡調査
14	東久保45街区1-11・6面跡	(1998.8.17~24)	2,649	店舗兼住居兼庫	中辺野(ピット2)	町内遺跡調査
15	ふじみ野1-9-5・7	(2013.2.18~22)	1,834	住宅兼庫	遺構遺物なし	市内遺跡15
16	東久保42街区6面跡	(1998.8.17~31)	1,347	店舗兼用駐車庫	ピット2	町内遺跡調査
17	東久保38街区7・8面跡	(1998.8.19~24)	1,131	店舗兼用駐車庫	縄文:石敷1	町内遺跡調査
18	東久保319-1	(1999.2.28~24)	850	デニスコート	ピット5、溝1	町内遺跡調査
19	東久保33街区8面跡	(1999.3.7)	944	アスファルト駐車場	溝1、溝2	町内遺跡調査
20	東久保39街区1面跡	(1999.6.16~7.19)	900	区画整理報告書	溝1、ピット26	町内遺跡調査
21	東久保37街区1~3面跡	(1999.11.18~12.9)	1,311	店 舗	縄文:土坑1、溝3、ピット23	町内遺跡調査
22	東久保44街区15面跡	(2000.3.7~9)	150	個人住宅	中辺野(溝1)、ピット9	町内遺跡調査
23	東久保13街区6面跡	(2001.8.5~13)	1,233	共用住宅	溝1跡1、ピット1	町内遺跡調査
24	ふじみ野1-667-1他	(2005.5.24~30)	925	店 舗	土坑1	市内遺跡2
25	ふじみ野1-9-5	(2005.6.20~7.7)2005.7.11~13	1,425	店 舗	縄文時代遺跡:伊765	市内遺跡2
26	ふじみ野1-9-10	(2005.6.28~7.2)	604	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡2
27	ふじみ野1-10-8~11	(2006.1.5~10)	1,060	店 舗	遺構遺物なし	市内遺跡2
28	ふじみ野1-10-30~32-1	(2006.1.11)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡2
29	ふじみ野1丁目11-13・14・15・32-2	(2006.4.24~5.10)	1,568.15	共用住宅	遺構遺物なし	市内遺跡3
30	ふじみ野1-4-1	(2006.5.15~19)7.28~8.1)	2,004	店 舗	縄文:土坑出土	市内遺跡3
31	ふじみ野1-10-13	(2006.7.3)	634	保育所	遺構遺物なし	市内遺跡3
32	ふじみ野1-14	(2008.2.14)	165	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡4
33	ふじみ野1-10-12	(2008.6.12~25)	1,271	分譲及び店舗	遺構遺物なし	市内遺跡6
34	ふじみ野1-4-1の一部	(2008.10.3)	214.92	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡6
35	ふじみ野1-10-6	(2011.2.7~8)	1,032	平屋造成	遺構遺物なし	市内遺跡10
36	ふじみ野1-9-1の一部	(2013.3.10)	661.42	商店造成	遺構遺物なし	市内遺跡20
37	ふじみ野1-3-7	(2013.8.11)	724	駐車場	遺構遺物なし	市内遺跡22



第66図 東中学校西遺跡第36地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

第16章 西ノ原遺跡の調査

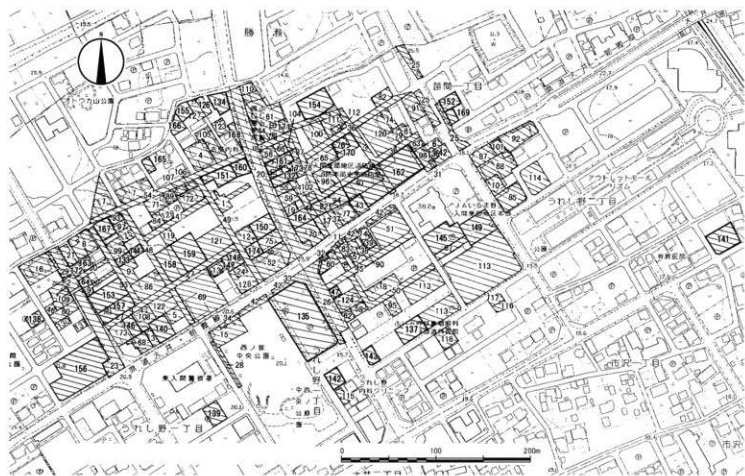
I 遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、西から東へ流れて人間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は2～3mで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東

久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加に伴い遺跡の破壊が進んでいる。1971年以来2018年4月現在で174地点に及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、210軒を越す住居跡が環状集落として形成され、市内において東台遺跡と共に中期全般を通した良好な大規模集落跡であったことがわかる。



第67図 西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第41表 西ノ原遺跡調査一覧表

順	所在地	調査期間 (月日～調査日)	面積 (㎡)	調査期間	確認された遺構と遺物	所収 報告書	地号	所在地	調査期間 (月日～調査日)	面積 (㎡)	調査箇所	確認された遺構と遺物	所収 報告書
1		1971			住居跡1、土坑3、赤石土坑1	前掲1							
2	西ノ原81	1978.12.6～12.26	270	宅地造成	住居跡1、溝2、石垣跡、礎石土坑1	前掲2	63	西ノ原142-3	1993.4.13～22	147	共同住宅	中近世住居跡、遺物なし	前掲
3		1979.3		宅地造成	土器片のみ出土		64	西ノ原94-1	1993.4.27～28	327	共同住宅	近世近代墓、副葬品5	前掲
4	西ノ原125-1	1979.7.2～9	668	宅地造成	土器片のみ出土		65	西ノ原145-1	1993.6.7～11	605	共同住宅	縄文中期土坑3、平岡式住居跡1、土器跡、遺物なし	前掲
5		1979.8.1～14		考古学発掘調査	住居跡1、土坑1、早期掘り穴2、土器片、瓦2、石垣跡(7層)	前掲7	66	西ノ原133-2	1993.6.30～7.19	474	共同住宅	近世溝、礎石土坑	前掲
6	西ノ原170-2	1980.4.19～27	450	宅地造成	土坑2、柱穴2、礎石内形式土坑1		67	西ノ原159-2	1994.1.20～21	308	倉庫	縄文中期土坑1、近世溝	前掲
7	西ノ原26-1	1980.10.1～29	563	宅地造成	石垣跡確認、礎石土坑1	前掲8	68	西ノ原12-6	1994.3.22～25	285	住居跡	遺構遺物なし	前掲
8	西ノ原95-2-3	1980.10.30～11.14	661	宅地造成	礎石土坑1、土坑1、溝2、縄文中期土坑		69	前掲106	1994.4.22～27	1,821	店舗	縄文中期住居跡2、土坑6、ピット3、溝3	前掲(1)
9	西ノ原93-1、池1	1981.6.1～23	600		柱穴6、溝2、石垣、土溝	前掲9	70	前掲136	1994.5	555	店舗	壁外埋没跡4、土坑14	前掲
10	西ノ原120-2	1981.11.4～13	400	個人住居		前掲11	71	前掲112	1994.6-7	309	個人住居	溝と土坑1	前掲
11	西ノ原143-4	1983.2.23～27	198	宅地造成	縄文中期土坑1、礎石土坑1	前掲12	72	前掲112-109	1994.8.13～28	327	個人住居	縄文中期住居跡3、土坑2、溝2	前掲
12	西ノ原123-3	1983.7.6～8.11	330		縄文中期住居跡1、礎石土坑19	前掲13	73	前掲192-1	1994.3.27～29	274	個人住居	遺構遺物なし	前掲
13	西ノ原134-6	1983.9.13～10.18	350		縄文中期住居跡1、礎石土坑56、赤石土坑1、溝1	前掲14	74	前掲163	1994.4.21～5.13	569	事務所	ピット6	前掲
14	西ノ原143	1983.10.24～11.27	400		縄文中期住居跡2、礎石土坑3、土坑1、溝1	前掲15	75	前掲122	1995.5.16～2.13	379	事務所	縄文中期住居跡17、赤石土坑1、土坑4、溝2、ピット9、溝1	前掲(1)
15				共同住宅	縄文中期土坑2、ピット6		76	前掲151-28	1995.4.29～27	468	倉庫	ピット1、溝1	
16				遺構なし			77	前掲43-2	1995.5.24～23	347	店舗	縄文中期住居跡1、土坑18、溝4、ピット5	前掲(1)
17	西ノ原135-3	1985.5.13～22	165	宅地造成	縄文中期土坑2、溝1	前掲16	78	前掲22-3-2	1995.6.28～6.30	45	貯水溝	縄文中期住居跡3	前掲
18	西ノ原141-2	1985.7.26～8.5	569	宅地造成	縄文中期住居跡1、礎石土坑1、ピット5	前掲17	79	前掲142-28	1995.6.29～7.25	135	個人住居	遺構遺物なし	前掲
19	西ノ原135-1	1986.7.8～21	301	住居跡	縄文中期住居跡1、礎石土坑1、赤石土坑1	前掲18	80	前掲3-2	1995.7.19～20	45	貯水溝	遺構遺物なし	前掲
20	西ノ原131	1986.11～1987.4	3,553	汲水溝跡	縄文中期掘り穴4、中期住居跡12、壁外埋没跡、扉外埋没跡2、溝と穴1、土器跡	前掲19	81	前掲169	1995.8.2-7	219	個人住居	遺構遺物なし	前掲
21	西ノ原95-1	1986.12.11～1987.3	447	住宅	竪穴住居跡1	前掲20	82	前掲168	1995.8.1～5	249	事務所	遺構遺物なし	前掲
22		1987		掘削調査	縄文中期住居跡2、礎石土坑11	前掲21	83	前掲166-100	1995.10.31～11.15	135	個人住居	土坑1、ピット5	前掲
23	1987.7～8	1,804	汲水溝跡	土坑2		前掲22	84	前掲108、100	1995.11.30～12.1	190	個人住居	土坑2、ピット2	前掲
24	1987			縄文中期住居跡2確認、単発掘		前掲23	85	前掲183-3	1996.1.8～26	654	パチンコ店	遺構遺物なし	前掲
25	1988.7～2	791	汲水溝跡	遺構なし		前掲24	86	前掲113-2	1996.4.19	608	個人住居	土坑6、ピット26、溝2	前掲
26	1988.3～4	1,649	汲水溝跡	石垣跡、竪穴住居跡跡3、土坑19、扉外埋没跡1		前掲25	87	前掲182-1	1996.6.14～17	344	学芸館	遺構遺物なし	前掲
27	1988.10	942	汲水溝跡	縄文中期住居跡5、礎石土坑2、土坑1、溝1		前掲26	88	北野町1丁目19-2	1996.7.16～22	745	共同住宅	土坑3、ピット2、溝1、溝と土坑1、溝	前掲(1)
28	1988.11			遺構なし		前掲27	89	西ノ原112	1996.7.17～18	143	個人住居	溝、土器片のみ	前掲
29	1988.12			遺構なし		前掲28	90	西ノ原142-2	1996.7.31	477	個人住居	縄文中期住居跡2、穴2、土坑1、ピット9	前掲
30	1988.12			遺構なし		前掲29	91	前掲168	1996.8.1～5	177	店舗	遺構遺物なし	前掲
31	西ノ原115-1	1989.1.14～11	21	下木管理	遺構なし	前掲30	92	前掲192	1996.10.23～28	684	公民館	遺構遺物なし	前掲
32	西ノ原122	1989.1.10～19	21	汲水溝跡	縄文中期住居跡1、扉外埋没跡1	前掲31	93	前掲115	1996.10.22～25	181	個人住居	遺構なし、土器片のみ	前掲
33	西ノ原153-2	1989.1.10～19	21	汲水溝跡	縄文中期住居跡1	前掲32	94	前掲145-2	1996.11.11～12	165	個人住居	遺構なし、土器片のみ	前掲
34	西ノ原171	1989.1.24～31	21	汲水溝跡	縄文中期住居跡1	前掲33	95	前掲184	1996.11.14～19	283	商業ビル	伊1	前掲
35	1989.2～3	4,000	汲水溝跡	縄文中期住居跡1、土坑1	前掲34	96	前掲441	1996.12.17～20	333	個人住居	縄文中期住居跡2、穴2、土坑1、ピット4	前掲	
36	1989.3～4	1	汲水溝跡	縄文中期住居跡4、礎石土坑5、溝と土坑2、井筒1	前掲35	97	前掲97-2	1996.12.19～20	141	分譲住宅	遺構遺物なし	前掲	
37	1989.5～8	200	汲水溝跡		前掲36	98	前掲173-2	1997.1.8	306	個人住居	竪穴住居跡	前掲	
38	西ノ原142-2	1989.8.29～9.12	74	個人住居	縄文中期住居跡1、土坑3	前掲37	99	前掲97-1	1997.1.29～24	396	個人住居	土坑1、溝と土坑1、ピット12、溝1	前掲
39	西ノ原142-2	1989.8.29～9.12	94	個人住居	土坑2、溝2	前掲38	100	前掲192	1997.4.5～12	447	共同住宅	土坑2、ピット3	前掲
40	1989.10.16～10.16	198	池跡調査	縄文中期住居跡4、土坑4、溝2	前掲39	101	前掲183-1-3	1997.7.22～25	187	モダンハウス	遺構遺物なし	前掲	
41	1989.9～10	476	汲水溝跡	縄文中期住居跡4、土坑1	前掲40	102	大井原町2地区5画地	1997.10.29～20	179	個人住居	ピット2、溝2	前掲	
42	1991.12～1992.7			扉外埋没跡2、土坑19	前掲41	103	前掲22地区2-1	1997.10.6～6	223	個人住居	溝と溝2	前掲	
43	1991.12～1992.7			個人住居	縄文中期住居跡4、土坑3	前掲42	104	前掲129-2-126-2	1998.1.13～2.12	565	共同住宅	縄文中期住居跡1、伊1、溝9	前掲
44	1990.6～8	3,224	汲水溝跡	扉外埋没跡2、土坑19、溝と土坑2、土坑16、溝と土坑1	前掲43	105	前掲112	1998.1.28～2.14	135	個人住居	ピット1	前掲	
45	1991.8～2			個人住居	遺構なし、土器片のみ	前掲44	106	前掲112	1998.2.8～11	135	個人住居	ピット4、溝1	前掲
46	前掲32	1991.8.20	199	個人住居	遺構なし、土器片のみ	前掲45	107	前掲191-1、99-1	1998.3.3	413	個人住居	縄文住居跡1、土坑1、近世溝	前掲
47	前掲16-2	1991.7.15～7.26	141	個人住居	遺構なし、石垣、土器片のみ	前掲46	108	前掲3-4、429	1998.3.11～18	429	共同住宅	遺構遺物なし	前掲
48	1991.9～10	2,810	汲水溝跡	縄文中期住居跡1、土坑3	前掲47	109	前掲46-2	1998.4.29～5.28	385	事務所	溝と土坑1、溝石1、掘り穴1	前掲	
49	1991.12～1992.1			汲水溝跡	縄文中期住居跡12、赤石土坑1、土坑8	前掲48	110	大井原町2地区5画地	1998.10.23～27	354	個人住居	ピット1、近世溝内溝1、溝1	前掲
50	1991.11～12			汲水溝跡	縄文中期住居跡15、扉外埋没跡1、土坑2	前掲49	111	大井原町2地区5画地	1998.9.28	244	個人住居	遺構遺物なし	前掲
51	前掲55-2	1991.2.4～12	1,190	モダンホーム	縄文中期住居跡2、掘り穴跡、土坑2、ピット3	前掲50	112	大井原町2地区5画地	1998.9.28	187	個人住居	遺構遺物なし	前掲
52	前掲122	1991.10～20	984	ガラス工シタシ	縄文中期住居跡14、墓石土坑7、土坑5、掘り穴1	前掲51	113	大井原町3地区5画地	1999.4.5～12.14	2,873	事務所	石垣跡、竪穴のユニット、中期住居跡6、伊1穴、伊1穴、近世溝	前掲
53	西ノ原133-2	1992.6	261	分譲住宅		前掲52	114	西ノ原194-1	1999.6.4～12	676	駐車場	溝と土坑1、ピット2	前掲
54	1992.9～7			汲水溝跡	赤石土坑1、土坑1	前掲53	115	大井原町2地区5画地	1999.8.27～29	135	事務所	遺構遺物なし	前掲
55	西ノ原135-98	1992.5.21～6.23	241	分譲住宅	縄文中期住居跡2、穴2、土坑1	前掲54	116	大井原町9地区5画地	1999.12.2～3	119	個人住居	遺構遺物なし	前掲
56	西ノ原133-2	1992.6.23～26	361	分譲住宅	墓石土坑1、土坑3、ピット6、溝1	前掲55	117	大井原町9地区5画地	1999.12.4～4	331	店舗前庭	遺構遺物なし	前掲
57	西ノ原143-3	1992.7.6～8	174	個人住居	縄文中期住居跡2、土坑1	前掲56	118	大井原町9地区5画地	2000.4.3～12	548	店舗	遺構遺物なし、縄文中期土器片	前掲
58	西ノ原137-2	1992.8.8	146	個人住居	遺構なし、礎石土器片のみ	前掲57	119	大井原町9地区5画地	2000.11.15～12.21	220	事務所	縄文中期住居跡2、土坑1、ピット1、溝1	前掲
59	西ノ原135-1	1992.10.6～11.12	494	個人住居	縄文中期住居跡3、伊1穴11、扉外埋没跡1、土坑1、ピット4	前掲58	120	大井原町24地区5画地	2000.5.17～15	1,120	共同住宅	遺構遺物なし、縄文中期土器片	前掲
60	西ノ原136-2	1992.12.10～25	253	個人住居	縄文中期住居跡1、溝と土坑1、ピット3、溝と土坑1	前掲59	121	前掲15	2002.7.28～10	803	個人住居	縄文中期住居跡2、土坑2、ピット3、近世溝	前掲
61	西ノ原	1993.2	2,340	汲水溝跡	早期竪穴住居跡1、溝と土坑3、土坑2、伊1	前掲60	122	大井原町14地区5画地	2002.1.31～19	393	共同住宅	縄文中期住居跡4、溝3	前掲
62						前掲61	123	大井原町19地区5画地	2002.8.9～9	252	共同住宅	竪穴跡のみ	前掲



第68図 西ノ原遺跡遺構分布図 (1/7,000)

Ⅱ 西ノ原遺跡第164地点

(1) 調査の概要

調査は駐車場造成に伴うもので、原因者より2015年4月13日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。調査は2015年5月11日～18日にまで行った。幅1.5mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約60cmである。

調査の結果、縄文時代の住居跡1軒、屋外埋裏1基、土坑6基、ピット1基を検出した。遺構に対して30cm以上の保護層が確保できるため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

①第218号住居跡

今回の調査では現状保存が可能であったため、規模の確認等最低限の調査のみを行った。そのため住居跡に関しても遺構の掘削は行っていない。また、試掘調査段階では本地点の北側に隣接する西ノ原遺跡第19地点検出の10号住居跡だと思われていたが、検討の結果、新たに発見された住居跡であることが判明した。そのため新たに付番した。

【位置・時期】調査区北側に位置する。

【形状・規模】住居跡の平面形態は楕円形を呈する。規模は(454)×414cm、深さ32cmである。

【ピット】住居内ピットは3基確認した。いずれも主

柱穴の可能性が考えられる。ピット1は楕円形を呈し、確認面径58×40cm、深さ22.8cmである。ピット2は不整形形を呈し、確認面径37×35cm、深さ不明。ピット3も不整形形を呈する。規模は確認面径(34)×32cm、深さは不明である。

【炉】炉は住居跡ほぼ中央部に位置する。地床炉で、規模は長軸51cm、短軸45cm、深さ16cmである。

【遺物出土状況】住居覆土中より縄文土器が出土した。いずれも破片で、全容を把握できるものはない。

②屋外埋裏

屋外埋裏は調査区北側、第218号住居跡の東側に位置する。攪乱によって北側1/2と南側が部分的に破壊されているため平面形態は不明。底部を欠損する深鉢形の縄文土器を逆位に埋設する。確認面径は112×(53)cm、深さ22.2cmである。

③土坑

土坑の詳細については第43表に掲載した。

④ピット

ピットは調査区北側、第218号住居跡の東側に位置する。攪乱によって一部を破壊されているため、平面形態は不明である。確認面径(60)×30cm、底径10×3cm、深さ66.1cmである。

⑤溝

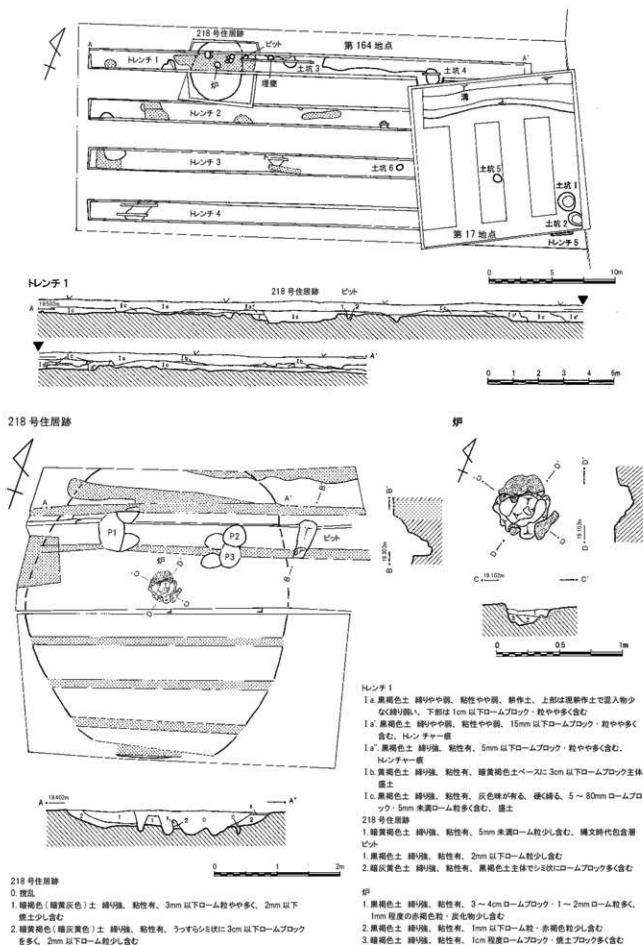
溝に関しては第17地点として調査済みである。詳細については文化財調査報告第15集『東部遺跡群VI』(1986年3月刊行)にて報告済みのため、本書では割愛する。

⑥出土遺物

出土遺物の詳細については、第71図及び第44表に掲載した。

第43表 西ノ原遺跡第164地点土坑一覧表(単位cm)

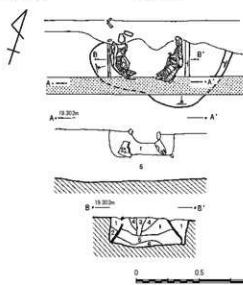
新No	平面形態	確認面径	底径	深さ	旧No
1	楕円形	78×59	51×40	33.2	17地点土坑1
2	不明	76×76	51×43	35.6	17地点土坑2・164地点土坑4
3	円形	92×90	50×50	39.5	164地点土坑1
4	円形	(127)×115	112×95	23.6	164地点土坑2
5	円形	75×67	57×56	28.5	164地点土坑3
6	円形	64×62	53×53	22.4	164地点土坑5



第 69 図 西ノ原遺跡第 164 地点 遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、218号住居跡・ピット(1/60)、炉(1/30)

164 地点

屋外埋裏

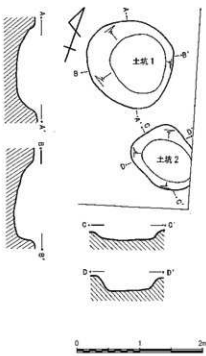


屋外埋裏

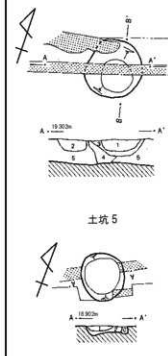
1. 褐色土 締り強、粘性有、2~3mm ローム粒多く、3mm 程度炭化物少し、1mm 大焼土僅かに含む
 2. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム主体、1~3cm 黒色土ブロック僅かに含む
 3. 黄褐色土 締り強、粘性有、1cm 程度のロームブロック・1~3cm 黒色土多く、1~2mm ローム粒・1mm 大炭化物少し含む
 4. 黄褐色土 締り強、粘性有、1~2mm ローム粒・同炭化物少し含む
 5. 黒褐色土 締り中強、粘性有、2~3cm ロームブロック多く、1mm 以下ローム粒・1~2mm 焼土少し含む
 6. 赤褐色土 締り強、粘性有、1mm 大ローム粒少し、焼土僅か、黄褐色土を面に含む
 7. 黄褐色土 締り強、粘性有、1mm 大ローム粒少し、1~2mm 炭化物多く含む
 8. 黄褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒・炭化物少し含む
- 土坑 3
1. 褐色土 締り強、粘性有、2~3mm ローム粒多く、3mm 程度炭化物少し、1mm 大焼土僅かに含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下炭化物僅かに含む
 3. 締褐色土 締り強、粘性有、5mm 大ロームブロック多く、1~2mm ローム粒少し含む
 4. 締褐色土 締り強、粘性有、1~4cm ロームブロック多く、炭灰に含む
 5. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム主体、1~3cm 黒色土ブロック僅かに含む
- 土坑 4
0. 攪乱
 1. 締黄灰色土 締り強、粘性有、5~90mm ロームブロック少し含む
 2. 締黄褐色土 締り強、粘性有、2~5cm ロームブロック多く含む
- 土坑 5・6
0. 攪乱
 1. 締褐色土 締り強、粘性有、2~3mm ローム粒多く、3mm 程度炭化物少し、1mm 大焼土僅かに含む
 2. 締褐色土 締り強、粘性有、5mm 大ロームブロック多く、1~2mm ローム粒少し含む
 3. 締褐色土 締り強、粘性有、1~3cm ロームブロック多く含む
 4. 締褐色土 締り強、粘性有、5~10mm ロームブロック・1~3mm ローム粒多く、2~3mm 炭化物少し含む

第17地点

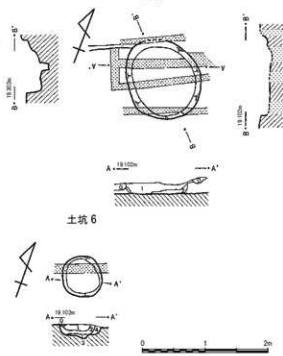
土坑 1・2



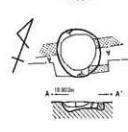
土坑 3



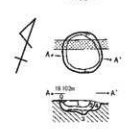
土坑 4



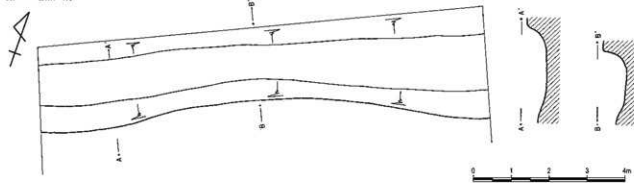
土坑 5



土坑 6



第17地点 溝



第70図 西ノ原遺跡第164地点屋外埋裏(1/30)、土坑(1/60)、溝(1/100)

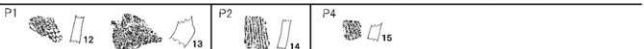
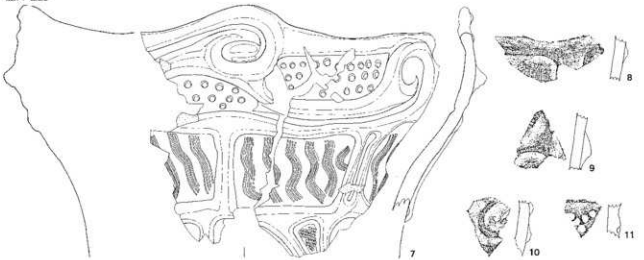
第44表 西ノ原遺跡第164地点出土遺物観察表(単位cm・g)

図版番号	出土遺物	形状/部位	地文/地文/備考	時期/型式	図版番号	出土遺物	形状/部位	地文/地文/備考	時期/型式	
第71図-1	218号住居跡	胴部	縦位肌原糸・砂鏝を多く含む	中期	第71図-17	深鉢/口縁部	縦位肌原糸、横位沈線、逆U字状の沈線による区画	中期/加賀利E II～III		
第71図-2		胴部	2本の沈線	中期	第71図-18	深鉢/口縁部	横線による遺構文、遺構文下に径9mmの円形刺突文・横かた菱目を含む	中期/加賀利E II		
第71図-3		胴部	径9mmの円形刺突文・第71図-7層外埋壁と同一か	中期/加賀利E	第71図-19	深鉢/胴部	地文I肌、隆帯による遺構文・白色粒子を多く含む・第71図-7層外埋壁と同一か	中期/加賀利E II～III		
第71図-4		胴部	無文・横かた菱目を含む	中期	第71図-20	深鉢/胴部	地文I肌、隆帯による遺構文・白色粒子を多く含む・第71図-7層外埋壁と同一か	中期/加賀利E II～III		
第71図-5		胴部	無文・白色粒子を多く含む	中期	第71図-21	深鉢/胴部	地文I肌、隆帯による遺構文・白色粒子を多く含む・第71図-7層外埋壁と同一か	中期/加賀利E II～III		
第71図-6		胴部	肌原糸	—	第71図-22	深鉢/胴部	地文I肌、沈線による区画か/砂鏝を多く含む	中期/加賀利E II～III		
第71図-7	屋外埋壁	深鉢/口縁部	隆帯、口縁部に遺構文の隆帯、遺構文間の方形区画内に径9mmの円形刺突文を多く含む。隆帯の隆帯による方形区画内に縦位の波状の縦位刺突文工具文。隆帯による逆U字状区画内に縦位の沈線・口縁部径43.5mm・白色粒子を多く含む・口縁部厚(47.2)cm、高さ(26.6)cm	中期/加賀利E II新	第71図-23	深鉢/胴部	地文I肌、沈線による区画	中期/加賀利E II～III		
第71図-8		深鉢/胴部	隆帯による区画、区画内に縦位刺突文工具文/3カキ丁字・第71図-7層外埋壁と同一か	中期/加賀利E II新	第71図-24	深鉢/胴部	地文I肌、沈線による区画、磨減が激しい	中期/加賀利E II～III		
第71図-9		胴部	縦位肌原糸・隆帯が三文字状になる・第71図-7層外埋壁と同一か	中期/加賀利E II新	第71図-25	胴部	肌原糸	中期		
第71図-10		胴部	隆帯、横位肌原糸・第71図-7層外埋壁と同一か	中期/加賀利E II新	第71図-26	胴部	L肌織文	中期		
第71図-11		胴部	径8～9mmの円形刺突文・第71図-7層外埋壁と同一か	中期/加賀利E II新	第71図-27	胴部	L肌織文	中期/加賀利E II～III		
第71図-12		P1	胴部	地文肌織文後取り消し	中期	第71図-28	胴部	2本の横位沈線、下部に横文か/砂鏝を多く含む	中期	
第71図-13			胴部	隆帯	中期	第71図-29	胴部	2本の縦位沈線、ミカキ丁字	中期	
第71図-14			P2	胴部	縦位刺突文工具文	—	第71図-30	胴部	横位刺突文工具による区画・砂鏝を多く含む	中期
第71図-15			P4	胴部	縦位刺突文工具文か	—	第71図-31	胴部	縦位刺突文工具文・白色粒子を多く含む・第71図-7層外埋壁と同一か	中期
第71図-16			遺構外	深鉢/口縁部	半乾竹管状工具による刺突文、口縁部に刺突文を含む	中期/簡便	第71図-32	胴部	無文・白色粒子を多く含む	中期
						第71図-33	遺部	上付底	中期	

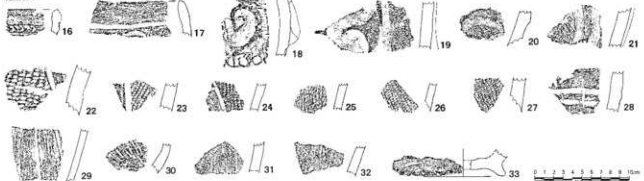
218号住居跡



屋外埋壁



遺構外



第71図 西ノ原遺跡第164地点出土遺物(1/4)

III 西ノ原遺跡第165地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年7月30日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年9月30日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から遺構確認面までの深さは約130cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の調査は行っていない。

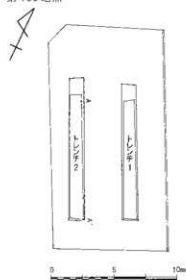
IV 西ノ原遺跡第166地点

(1) 調査の概要

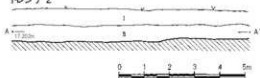
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年10月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年11月5日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.3mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から遺構確認面までの深さは約150cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。

第165地点

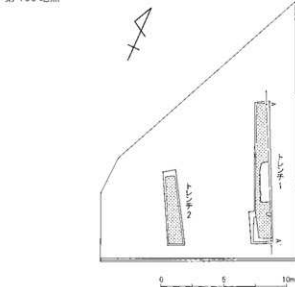


トレンチ2

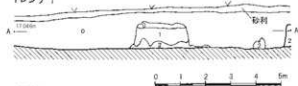


1. 褐色土 粘り強、粘性有、ガラ混じり層土ローム
 2. 黒色土 粘り強、粘性有、旧層赤土、1mm以下ローム極少し含む

第166地点



トレンチ1



0. 穴丸
 1. 暗褐色土 粘り強、粘性強、2mm以下ローム約少し含む
 2. 黒褐色土 粘りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒極僅かに含む

第72図 西ノ原遺跡第165・166地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

V 西ノ原遺跡第167地点

(1) 調査の概要

調査はアスファルト造成工事に伴うもので、原因者より2015年10月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年11月9～10日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.6mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約50～60cmである。

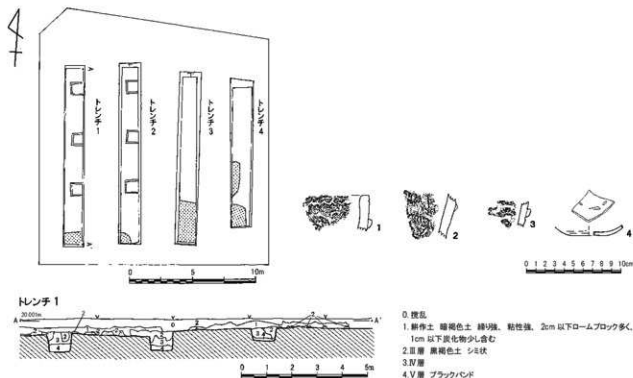
調査の結果、遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

また、トレンチ1・2において石器時代の確認調査を実施した。1m四方の調査区を約3m間隔で計6ヶ所設定して掘り下げたが、遺構・遺物は確認されなかった。

(2) 遺構と遺物

遺構は確認されなかったが、表土中より縄文土器片と陶器片が出土した。

1～3はすべて縄文時代の深鉢である。1は口縁部で波状の沈線と横位の隆帯を施す。2・3は胴部で、どちらも隆帯貼付だが摩擦が激しく詳細は不明。4は灯明皿の破片である。底径4cm、内面に鉄軸を施す。内面に重ね焼きの痕跡が見られる。1～3は縄文時代中期、4は近世に帰属する。



第73図 西ノ原遺跡第167地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)

第 17 章 神明後遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約 300m、さかい川の谷頭部から約 1.500m 下った右岸に位置し、標高 12～16m、現谷底との比高差は 1.5m を測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禪寺跡遺跡、苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い徐々に再開発が進みつづける。

本遺跡の最初の調査は 1987 年に大井町史編纂事業の一環として行われた。その後 1993 年に新駅へ延びる道路をはじめ、2018 年 4 月現在、55 地点で試掘調査および発掘調査が行われている。

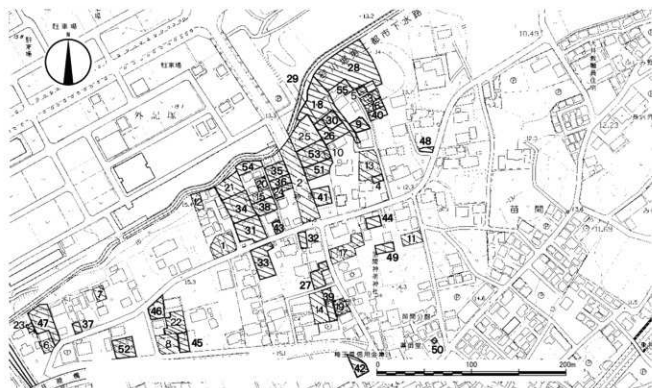
これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

II 神明後遺跡第 54 地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 9 月 15 日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 12 月 3 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.5m のトレンチ 1 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から 60 cm 下でも地山ローム層は確認されなかった。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

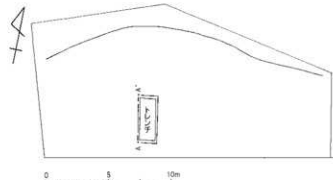


第 74 図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第45表 神明後遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間(1) 1/437探査調査	面積(m ²)	調査状況	確認された遺構と遺物	所在地番号
1	遺跡281-1	1993.5.6~11	615	共同住宅	遺構なし。平安朝時代瓦葺内、瓦葺片	町田
2	遺跡295-2, 299-3	1993.5.12~20	1,688	遺跡跡地	築とし穴1。平安朝後部1(H1号)、縄文土坑1、中・近世竪柱建物跡、地下式竈1、井戸、礎	町田
3	遺跡209-12	1993.5.24~20 1995.4.3~5.19	200	分譲住宅	縄文土坑1(2号)、灰層2、埋溝1、土坑2、ビット34他	町田
4	遺跡302	1996.6.17~19	703	惣屋	遺構なし。縄文土坑1	町田
5	遺跡明神後395-5	1997.1.15(1997.3.15~4.2)	80	個人住宅	縄文土坑跡1(3号)、土坑5、溝。縄文中期後半~後期初頭土器	町田
6	遺跡255, 227-2	1997.9.29~30	150	個人住宅	土坑1、土器片・石葺片	町田
7	遺跡460	1998.6.1~2	1,460	個人住宅	近世地下室1	町田
8	遺跡135-1	1998.7.13~24	458	共同住宅	縄文土坑4	町田
9	遺跡110-1	1998.9.1~11 1998.9.14~10.15	219	共同住宅	縄文土坑4、集石土坑1、築とし穴1、縄文土坑2、近世土坑1、井戸2、地下室1、ビット33	町田
10	遺跡298-1	1999.9.16	44	個人住宅	遺構なし。縄文土器片	町田
11	遺跡166	1999.10.21 1999.10.22~26	239	個人住宅	土坑17、ビット7	町田
12	遺跡282-2-5	2000.3.6	211	共同住宅	遺構遺物なし	町田
13	遺跡302-1	2000.4.17~19	694	個人住宅	土坑12、ビット2	町田
14	遺跡252-2	2000.8.19~23	351	共同住宅	土坑1、近世竪柱建物跡1、溝2、井戸1、樋井、ビット38	町田
15	遺跡293-15	2001.4.17 2001.4.12~13	163	個人住宅	集石土坑1(両主室側)	町田
16	遺跡309-14	2001.7.23~24 2001.7.25~9.3	165	個人住宅	縄文外周溝4、土坑13、溝2、地下式竈1、地下室1、竊穴遺構1、ビット39	町田
17	遺跡369-1	2002.2.28	587	個人住宅	近世溝	町田
18	遺跡304-1, 303-6	2002.5.15~21 2002.5.27~6.21	672	分譲住宅	縄文中期前半層5(8~12号)、土坑、古代・中世竪柱	町田
19	遺跡264-4	2002.9.19~20	216	個人住宅	埋溝跡、溝4	町田
20	遺跡293-11	2003.1.14~15	143	個人住宅	中・近世溝2、ビット2	町田
21	遺跡283-1	2003.1.10~30	674	土地造成	ビット7、井戸1、近世地下室2、土坑1	町田
22	遺跡235-2-3	2003.7.8~29	430	分譲住宅	井戸1、土坑10、ビット38、江戸後期陶磁器	町田
23	遺跡253	2004.4.9	62	個人住宅	地下室1、礎	町田
24	遺跡神明後293-4-10	2004.9.30~10.7	148	個人住宅	遺構遺物なし	町田
25	遺跡299-1	2004.9.30~10.7	660	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町田
26	遺跡神明後301, 303-3~5-7, 304-1	2005.6.1~8 2005.6.15~30	689	分譲住宅	縄文中期住居跡1(13号)、中世地下式竈、近世土坑5、溝	調査18集
27	遺跡248-2, 249-1	2005.7.20~25 2005.7.27~29	385	共同住宅	縄文中期住居跡1(14号)	調査18集
28	遺跡神明後2106-1	2006.5.8~31 2006.6.29~10.5	2,171	宅地造成	縄文中期住居跡1(15~25号)、集石土坑5、溝とし穴1、伊六、ビット、溝4、古代・中世埋溝1	市3
29	遺跡神明後303-21~24	2006.5.8~11 2006.5.12~19	135.9	個人住宅	ビット1、古代・中世埋溝1	市3
30	遺跡神明後303-1	2006.5.8~19 2006.12.14~19	101.13	個人住宅	ビット12	市3
31	遺跡神明後284	2007.8.3~7	499	個人住宅	土坑2	市4
32	遺跡神明後247-2	2008.3.13	136	個人住宅	近・現代埋溝	市4
33a	遺跡240-2	2008.4.25~5.16	298	個人住宅	築とし穴1、中世以降溝6、井戸2、土坑38、ビット16	市6
33b	遺跡240-3	2008.4.25~5.16	357	分譲住宅	遺構遺物なし	市6
34	遺跡神明後283-1, 284-1の一部	2008.4.30~5.15 2008.5.16~28	1,693	個人住宅	縄文中期住居跡1(26号)、築とし穴1、集石土坑、ビット	市5
35	遺跡神明後293-6-20	2008.8.1	247	個人住宅	遺構遺物なし	市6
36	遺跡神明後293-3	2008.8.2	165	個人住宅	ビット1	市6
37	遺跡258-1の一部	2009.4.13 2009.4.15~30	120	個人住宅	縄文後部住居跡1	市8
38	遺跡神明後293-1, 292-13	2009.7.6~7 2009.7.8~16	265	個人住宅	中世溝1	市8
39	遺跡神明後264-1	2009.8.5~12 2009.8.24~9.1	378	共同住宅	中・近世溝2、ビット28、築とし穴1	市7
40	遺跡309-1	2009.11.9~16 2009.12.18~2010.1.15	156	個人住宅	縄文集石土坑1、中世地下式竈2、井戸1、竊穴遺構1、土坑9	市9
41	遺跡神明後298-1, 299-1の一部	2010.5.25~6.7 2010.6.15~7.21	486.36	共同住宅	縄文時代集石土坑1、中世の竪柱建物跡、方形竊穴遺構16、溝7、木炭層2、ビット214	市10
42	遺跡神明後190-3	2010.6.1~2	312	宅地造成	遺構遺物なし。埋溝跡	市10
43	遺跡292-14	2010.10.20~22 2010.10.22	107	個人住宅	中世~近世間ビット2、本掘	市10
44	遺跡神明後365-1, 368-1の一部	2011.7.8 2011.7.11~13	1,535.8	個人住宅	築とし穴1、土葺・瓦葺片	市14
45	遺跡神明後235-9	2011.12.5	200	個人住宅	遺構遺物なし	市14
46	遺跡神明後235-6	2012.4.9~10	233	個人住宅	縄文土坑1、土葺片	市15
47	遺跡神明後227-2	2012.4.24 2012.4.25~5.10	340	個人住宅	縄文時代集石土坑3、ビット4、縄文土器片	市15
48	遺跡神明後315-1の一部	2012.5.7 2012.5.8~14	171	個人住宅	井戸1、溝3、土葺片、ビット、板敷、カラフカ、近世陶磁器、石臼跡	市15
49	遺跡神明後367-1, 368-6	2013.1.30	27.5	個人住宅	遺構遺物なし	市15
50	遺跡175	2013.12.11	531	事務所	遺構遺物なし	市18
51	神明後295-1, 297-1-2の一部、295-1, 299-1	2014.11.15~13 2014.11.20~25	487.33	集合住宅	縄文時代土坑2、中世溝2、縄文土器	市16
52	遺跡神明後231-3	2015.1.28	379	個人住宅	遺構なし。土葺片	市20
53	遺跡神明後298-1	2015.1.28	495	個人住宅	遺構遺物なし	市20
54	遺跡神明後293-7-9	2015.12.3	342	共同住宅	遺構遺物なし	市22
55	遺跡神明後310-15の一部	2017.8.5 2017.8.9~12	180	個人住宅	縄文住居跡2、縄文土器、石葺	未報告

※町: 大井町内遺跡群。調査: 大井町遺跡調査会報告。市: ふじみ野市市内遺跡群



I. 黒褐色土 締り強、粘性有、表土盛土層で、木の根・ロームブロック・礎を多く含む
 II. 暗褐色土 締り強、粘性無、砂質で礎主体の盛り土
 III. 黒褐色土 締り強、粘性有、旧跡作土、やや灰黒色
 IV. 黒色土 締り強、粘性有、旧包倉層で黒色土

第75図 神明後遺跡第54地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

第18章 浄禪寺跡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

浄禪寺跡遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約600m、浄禪寺川の湧水地南側から右岸の台地上に位置する。標高12～14mで現谷底との比高差は2mを測る。浄禪寺川はさかい川と砂川堀の間を東流し、さかい川に合流する。さかい川はやがて砂川堀に合流して新河岸川へと注ぐ。

周辺の遺跡は北西に神明後遺跡、北側に苗間東久保遺跡が隣接する。本遺跡は1989年に苗間東久保遺跡の一部を、浄禪寺川を境に分割して登録した。

遺跡周辺は市街化が進み、残された畑地も周辺の区画整理の影響で開発が増加している。

2018年4月現在50地点で試掘調査及び発掘調査を行い、縄文時代早期の炬穴多数、前期住居跡1軒、中期住居跡4軒、中・近世の菜研状の堀や、遺跡名の由来である浄禪寺墓域から土壌墓157基、一字一石経約76,000点が出土している。浄禪寺は江戸時代に建立されたが、幕末に焼失して以来再建されていない。

II 浄禪寺跡遺跡第40地点

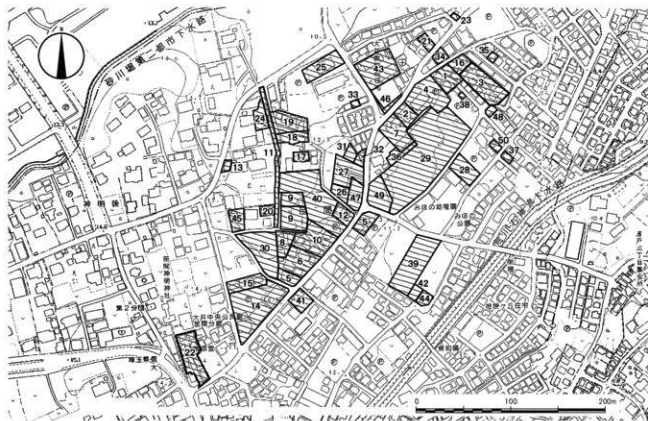
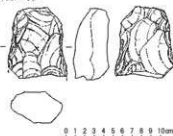
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴い、2015年8月19日～9月30日に試掘調査、10月1日～11月9日に本調査を実施した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みのため、本書では割愛した。

(2) 遺構と遺物

集石土坑の礎中より新たに見つかった石器1点について報告する。石器は打製石斧で、長さ(7.5)cm、幅6.1cm、厚さ3.7cm、重量176.66gである。頁岩製で、一部欠損する。

集石土坑1



第76図 浄禪寺跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)、第40地点出土遺物 (1/4)

第 46 表 浄禪寺跡遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 (又は調査調査)	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	葛原東久保579	1979.4.3～21	605	共同住宅	葛原東久保1地点として報告済み 伊穴1土、土坑14、縄文早期後半・中前期	東部遺跡群I
2	葛原東久保573	1982.4.1～3	396	共同住宅	葛原東久保2地点として報告済み 遺構なし、縄文早期後半・中前期	東部遺跡群III
3	葛原東久保581	1984.7.20～21	320	共同住宅	葛原東久保12地点も浄禪寺3地点とする 遺構なし、縄文中期後半	未報告
4	葛原神明後346-1	1989.11.15～25	150	開発予定地	伊穴10、土坑7、ビット14、縄文早期後半・前・中前期	東部遺跡群X
5	葛原174-9	1991.8.28～9.3	100	個人住宅	遺構なし、縄文前期・中前期土器片	町内遺跡群1
6	葛原158-1	1991.9.21～12.26	826	個人住宅	遺構・遺物なし	町内遺跡群1
7	葛原東久保573-4	1992.10.20～11.20	831	共同住宅	伊穴8、井戸3、竈3、縄文早期～中前期	調査報告書5集
8	葛原157-1	(1994.9.20～27)	615	宅地分譲	竈とし穴、楕円溝	町内遺跡群IV
9	葛原153	(1994.10.18.2007.5.22～24)	1,266	農地改良	土坑、溝、縄文土器、磁器	町内遺跡群IV、市内4
10	葛原156-1	1994.10.31～11.2	999	宅地分譲	近世土塋墓、一石経塚納土坑、六道銭、江戸中末期	調査報告書12集
11	葛原152-1 他	(1995.1.9～2.3)	572	道路	溝水口	町内遺跡群IV
12	葛原15-95	1995.9.25～10.21	140	個人住宅	堀外伊、遺物集ち3、ビット16、溝5、縄文中期土器、磁器	町内遺跡群V
13	葛原114-2	(1996.1.8～20)	101	個人住宅	土坑13、ビット11、井戸1、溝2、縄文早期～後期、陶磁器	町内遺跡群V
14	葛原160-1.362-2	(1996.6.3～12)1996.6.18～7.11	2,178	個人住宅	竈跡3、溝とし穴1、溝4、ビット251、磁石器、縄文土器、陶磁器片	町内遺跡群VI
15	葛原162-4-5	(1996.6.3～12)1996.7.12～8.2	494	分譲住宅	伊穴7	町内遺跡群VI
16	葛原179-1	1997.11.10～12.19	291	個人住宅	縄文土器1、伊穴14、ビット61、土坑16、溝4、縄文早期後半、前期、中前期	町内遺跡群VII
17	葛原145-2-10	(1998.9.29～10.2)	877	個人住宅	遺構なし、縄文早期後半、中前期後半	町内遺跡群VIII
18	葛原145-3-4	(1999.5.26～6.24)1999.6.26～8.3	599	個人住宅	伊穴8、集石土坑3、土坑13、ビット27、溝、縄文後期土器、土器片	町内遺跡群IX
19	葛原神明後345-4	1999.8.28～9.14	703	分譲住宅	伊穴1、集石2、地土瘠4、土坑22、井戸2、溝6、竈立5、縄文早期～後期土器、石器、中近世陶磁器、磁器	調査報告書15集
20	葛原神明後351-1	(2001.10.26～29)	223	倉庫	遺構なし、近世磁器	町内遺跡群X
21	葛原東久保591-3、592-7	(2001.11.19～20)	182	個人住宅	遺構なし、遺物なし	町内遺跡群X
22	葛原173-5-8、377-5-3-4	(2002.4.23～5.14)	935	分譲住宅	土坑1、ビット4、溝、遺物なし	町内遺跡群X
23	葛原192-1	(2003.4.28)	100	個人住宅	ビット2、溝、遺物なし	町内遺跡群X
24	葛原神明後346-1-201-一部	(2004.8.30～31)	391	個人住宅	遺構・遺物なし	町内遺跡群X
25	葛原139-1-2	(2004.9.22～10.12)	721	共同住宅	ビット2	町内遺跡群X
26	葛原神明後338-8、339-2	(2012.6.27)	844.8	個人住宅	遺構・遺物なし	市内遺跡群14
27	葛原神明後354-2の一部	(2005.3.3～8)2006.4.17～28、6.7～15	216	分譲住宅	伊穴10、土坑8、ビット21、溝1、縄文中期片	市内遺跡群3
28	葛原神明後354-2	(2005.12.1～2006.1.22)2006.1.23～2.23	696	道路・分譲住宅	住居跡1、伊穴15、溝壁2、土坑117、ビット127、溝1	市内遺跡群3
29	葛原東久保179-7、720-1	(2007.1.23)	2,478	園舎改築	溝2	市内遺跡群3
30	葛原170-1-2、571-1-2、575	(2007.8.7～9.21)2007.9.25～11.6	4,920	分譲住宅	竈立住居跡跡3、井戸15、土坑15、堀跡1、溝17、陶磁器・磁器片	市内遺跡群4
31	葛原159-1	(2007.9.14～10.9)2007.10.9～11.2	1,298	分譲住宅	茶室跡5、未定窯1、土坑15、溝2、陶磁器・磁器片	市内遺跡群4
32	葛原神明後342-14-一部	(2007.2.19)2007.2.19～3.5	171	個人住宅	住居跡1、伊穴1、土坑1、ビット26、縄文土器・石器	市内遺跡群4
33	葛原神明後340-17.342-10-15	(2007.2.25～3.4)	188	個人住宅	堀跡1、ビット1、縄文土器	市内遺跡群4
34	葛原神明後340-21	(2010.8.6)	76	個人住宅	土坑1	市内遺跡群10
35	葛原東久保586.7.587.2の一部	(2012.8.24)	160	個人住宅	遺構・遺物なし	市内遺跡群14
36	葛原東久保582-8	(2012.4.4)	80	個人住宅	ビット1、縄文土器片	市内遺跡群15
37	葛原東久保573-5	(2012.8.6～9)2012.9.5～12	401	宅地造成	土坑2、ビット14、溝5	市内遺跡群15
38	葛原東久保727-7	(2012.11.21)	100.52	個人住宅	遺構・遺物なし	市内遺跡群15
39	葛原東久保578-11	(2013.5.14)	53.42	個人住宅	遺構なし、表層土器	市内遺跡群18
40	葛原65-1	(2013.6.25～7.3)	1,709	分譲住宅	中世以降の溝、遺物なし	市内遺跡群18
41	葛原神明後355-1-2-12	(2015.8.19～9.30)2015.10.1～11.9	2,308.06	分譲住宅	縄文時代住居跡1、集石土坑3、溝6、土坑13、ビット51、地下式坑1、井戸1、縄文土器	市内遺跡群19
42	葛原神明前509-1-5	(2015.12.21)	349.73	分譲住宅	土坑1、ビット1、土器片	市内遺跡群22
43	葛原神明前564-30の一部	(2016.4.8)	132.35	分譲住宅	土坑1、遺物なし	未報告
44	葛原S589-1	(2016.6.20～24)	1,402	公園	遺構・遺物なし	未報告
45	葛原神明前564-5	(2016.7.4)	124.05	分譲住宅	溝1、遺物なし	未報告
46	葛原S349-3、350-4	(2016.8.18～19)	310	個人住宅	ビット12、縄文土器、泥甎子	未報告
47	葛原S88-10	(2017.2.6)	108	道路拡幅	遺構なし、縄文土器	未報告
48	葛原神明前345-1	(2017.4.24)2017.4.25～5.2	401	個人住宅	伊穴、土坑、ビット、縄文土器	未報告
49	葛原東久保717-3	(2017.4.24)	103	分譲住宅	遺構・遺物なし	未報告
50	葛原東久保569-1	(2017.5.22～23)	798	分譲住宅	遺構・遺物なし	未報告
51	葛原東久保717-12	(2017.7.10)	132	個人住宅	遺構・遺物なし	未報告

第19章 小田久保遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

小田久保遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約1.3 km、砂川堀の左岸、標高23～28mに位置する。本遺跡をのせる台地は緩やかな斜面を形成するが、対岸の南側台地は急傾斜をなす。

周辺の遺跡は、砂川堀を挟んだ南側台地上に旧石器時代の石器・礫群を検出した西台遺跡が、本遺跡の東側、微高地の突端には縄文時代前期住居を検出した大井氏館跡遺跡がある。

本遺跡は市街化調整区域のため比較的武蔵野の面影を残す農村地帯だが、区画整理事業とふじみ野駅の開

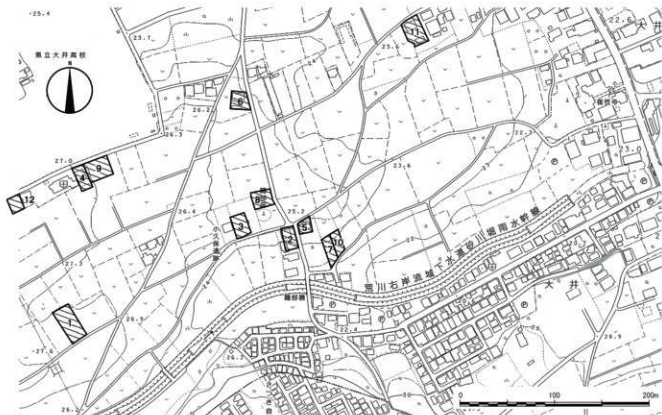
設により、ここ数年開発の波が押し寄せつつある。

1990年に最初の試掘調査が行われて以来、過去の調査では数点の縄文土器片を確認しているだけであったが、2003年と2004年の調査において本遺跡では初の住居跡を検出したことにより、本遺跡が縄文時代中期の集落である事が明らかとなりつつある。今後は集落の分布や範囲の解明が待たれる。分布調査や発掘調査から遺跡の時期は旧石器時代、縄文時代早期から中期、中近世である。2018年4月現在、12ヶ所で開催を行っている。

第47表 小田久保遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間(1)試掘調査	面積 (㎡)	調査単位	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井1223-3	(1990.10.13～16) H3.1月末～発掘調査予定	694	跡材遺構	溝溝なし、縄文中期土器片	奥川
2	大井1249-1	(1993.9.21～10.1)	498	個人住宅	溝溝なし、縄文中期土器片、石器	町内III
3	大井1214-3	(1994.6.7)	330	個人住宅	溝溝なし、縄文中期土器片、石器	町内IV
4	大井1185-5	(1997.6.24～26)	271	分譲住宅	土坑1	町内VI
5	大井字西原1023	(2003.8.18～19, 2003.8.20～9.2)	165	個人住宅	縄文中期住居跡1、縄文土器・石器	町内XI
6	大井字小田久保1207-5	(2004.10.26～27, 2004.10.28～11.13)	306	個人住宅	縄文中期住居跡1、奥石土坑1、土坑2、ピット8、縄文土器・石器	町内XI
7	大井字西原1023-9-8	(2008.5.19～21)	333	個人住宅	溝溝遺物なし	市内6
8	大井字小田久保1211-1	(2010.3.3～9)	421	個人住宅	縄文時代土坑5、ピット8、近世以降焼切り溝9、縄文土器・石器、瓦葺子	市内8
9	大井字小田久保1185-1	(2010.3.9)	536	個人住宅	溝溝遺物なし	市内10
10	大井字西原1023-3	(2014.10.7)	317	個人住宅	縄文時代土坑1、縄文土器	市内20
11	大井985-4	(2015.5.14)	330.16	個人住宅	溝溝遺物なし	市内22
12	小田久保1190-1-2-4、1196-1-2	(2015.8.18)	536	個人住宅	溝溝遺物なし	市内22

※東:大井町東部遺跡群、町:大井町内遺跡群、町宮:大井町史料編1、調査:大井町遺跡調査報告書、市:ふじみ野市市内遺跡群



第78図 小田久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)

II 小田久保遺跡第 11 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 5 月 8 日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 5 月 14 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 60 cm である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

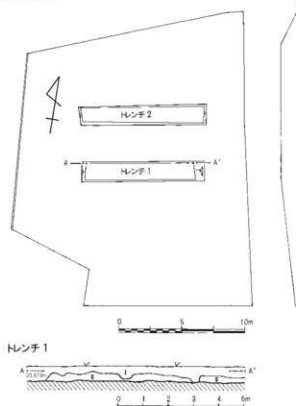
III 小田久保遺跡第 12 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 4 月 21 日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 8 月 18 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 ~ 60 cm である。

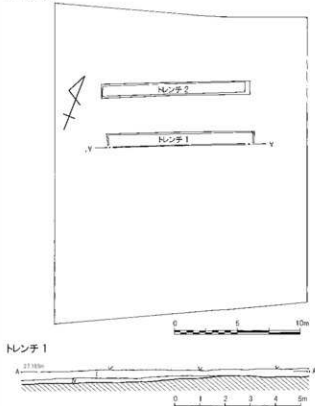
調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第 11 地点



- I. 黄褐色土 粘り強、粘性有、裏土、1cm 以下ロームブロック少し含む
 II. 褐色土 粘り弱、粘性有、盛土ローム、天地面下で(1cm 以下黒褐色土ブロック少し含む)層

第 12 地点



- I. 黄褐色土 粘り強、粘性有、裏土兼作土
 IV. 褐色土 粘り強、粘性有

第 79 図 小田久保遺跡第 11・12 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

第20章 大井氏館跡跡の調査

I 遺跡の立地と環境

本遺跡の名称は『埼玉の城館跡』(1972 埼玉県教育委員会)によるもので、平安時代末から鎌倉時代に活躍した武蔵七党の一つ、村山党の大井一族の館跡という想定による。遺跡は砂川堀左岸(北側)の舌状に張り出した微高地上、標高21~22mに立地し、西は川越街道に接している。砂川堀の対岸は段丘面を形成しており、比高差5mの崖になる。

遺跡の時期はA T 降灰前の立川ローム層第IV層段階の石器群、縄文時代前期、中世、大井宿に関連した近世・近代まで多岐にわたる。

II 大井氏館跡遺跡第26地点

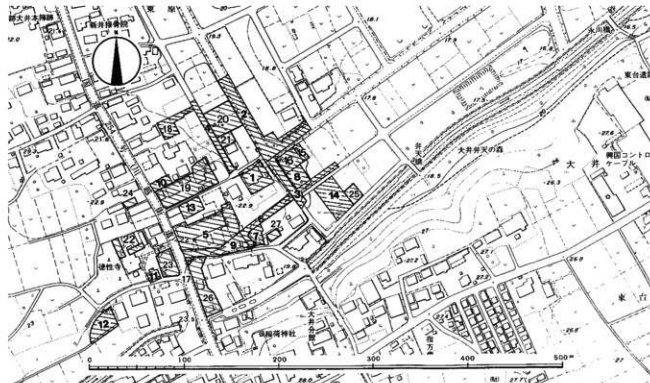
(1) 調査の概要

調査は貸店舖建設に伴うもので、原因者より2015年5月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじ

第48表 大井氏館跡遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期(1は試掘調査)	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1						
2						
3	大井212地	1988.6.24~1993.10.26	4,800	大井・扇間第一 土地改良管理事業	旧石器時代~石器集中6、群14~石器、縄文時代~集石土坑1、土坑4~石器・土器、中世前・近世~地下式坑12、井戸2、土坑28、溝5、近世土坑14~陶器陶片、船載磁器、土師質土器、瓦筒磁器類、石製品、板磚、金属製品、銭貨	調査会7
4		(1990.1.14~15)				
5	大井	(1991.6.11~17)1991.6.18~1993.4.6	2,220	店舗建設	縄文前期層部1、掘立建物跡、溝、前期中葉集石式土器、石器、陶器類、磁石、板磚、金属製品、土製品	調査会5・町内I
7	大井241-1	(1992.6.2~17)	157	個人住宅	溝1、溝1、溝跡遺構1、縄文土器、磁石、陶器	町内II
10	大井208-1, 209-1, 210-4	(1998.8.22)1998.9.19~10.2	1,153.46	ガソリンスタンド	縄文時代遺構と土坑1、近世の近代土坑、近世近代掘立建物跡1、井戸1、溝1、ピット24、陶磁器、土器、瓦、石製品、金属製品、ガラス製品	町内VI・調査会12集
11	大井182	(1998.11.9~17)		個人住宅	近世~近代の土坑6、溝5、陶磁器、土師器、鉄製品、ガラス製品、土製品、銭貨	町内IV
12	大井952	(1999.5.28~6.4)1999.6.2~4	690	駐車場	溝5、陶磁器、銭貨、石器、瓦、土師土器、土師器	町内IX
13	大井138-1	(2000.11.21~24)	78	事務所	遺構遺物なし	町内IX
14	大井扇間129南区2画地	(2002.5.22~6.6)2002.6.20~8.9	984	西向住宅	中世の溝9、井戸1、掘立建物跡、地下式坑1、茶室跡6、土坑24、ピット	町内IX
15	大井扇間126南区1画地	(2002.7.24~8.2)	135	個人住宅	溝1、ピット4	町内IX
16	大井2-242-1	(2002.8.5~22)2002.8.23~9.5	677	個人住宅	縄文時代の集石4、土坑11、ピット14	町内IX
17	大井1-11-9	(2002.11.19~12.2)	50	商店	近世~近代の土坑14、ピット13、磁石、銭貨	町内IX
18	大井・扇間90-6-9	(2003.1.17~22)	476	個人住宅	溝2、陶磁器、ミニチュア土器、ガラス類	町内IX
19	大井16-13	(2005.6.7~8)	1,500	個人住宅	遺構遺物なし	市内2
20	大井17-7	(2006.3.2~14)	773	共同住宅	時期不明の溝12、ピット21、縄文土器、陶器	市内2
21	大井17-15	(2006.5.22)	174	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
22	大井字西原954-1	(2007.11.27~12.1)	1,962	寺町集落跡	溝3、土坑4、ピット25、近代陶磁器、石製品、土師土器	市内4
23	大井字西原955-1, 956-1	(2012.11.7~9)2012.11.12~14	302.82	専用住宅	近世~近代の土坑10、近世~近代の陶磁器、土器、ガラス製品、石製品、銭貨、木製品等	市内15
24	大井字西原959, 960	(2014.6.23)2014.6.25	68.50	宅地	土坑(ごみ穴)1、近世陶磁器、瓦物	市内20
25	大井2-14-1305の一部	(2014.12.15)	414	道	遺構遺物なし	市内30
26	大井1-11-7の一部	(2015.8.1)	99.73	宅地	遺構遺物なし 遺構なし、磁石	市内27
27	大井1-9.5の一部	(2016.9.12)	301	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

※1:大井町内図参照。調査:大井町遺跡調査会報告。市内:ふじ野市市内図参照

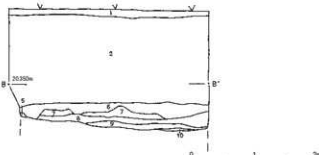
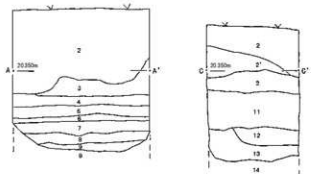
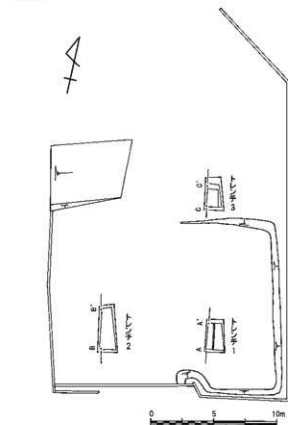


第80図 大井氏館跡遺跡の地形と調査区(1/4,000)

み野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年6月1日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力により表面精査を行った。

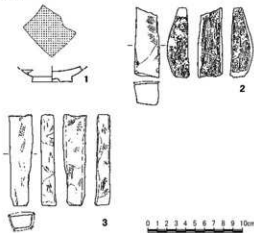
調査の結果、表土層が厚く堆積しており、現地表面から2m下まで掘削したが地山ローム層は確認できなかった。遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

表土中より陶器片1点と砥石2点が、現地表面から1.7~2.1m下の焼土と炭化物を含む層から出土した。1は瀬戸・美濃産の陶器碗の底部である。底径4.3cm、高台幅が1.3cmである。底部を除いた内外面に鉄軸を施す。18世紀後半~19世紀前半に帰属する。2・3はどちらも流紋岩製の砥石である。2は長さ7.4cm、幅2.7cm、厚さ2.3cm、重量67.9gで灰色を呈する。3側面に櫛目状成形痕が認められる。3は長さ9.6cm、幅2.4cm、厚さ1.4cm、重量56.78gで灰白色を呈する。上州産である。



1. 灰色砕石層
2. 黒褐色・暗褐色土 締り強。粘性やや弱。5cm以下ロームブロック・15cm以下多く含む。アスファルト塊伴う。内容物は知るが、トレンチ1は黒褐色。現代の盛土
2. 黄褐色土 締り強。粘性有。ローム土主体。シタ材に黒褐色土を含むが、微少な塊層。5~30mmの礫少し含む。盛土
3. 黒褐色土 締り有。粘性有。5mm未満ローム粒少し含む。4層との境に5cm以下の礫やや多く含む。盛土
4. 黄褐色土 締り強。粘性有。ローム土主体。厚さ2cmで黒褐色土の間層を複数含む。盛土
5. 暗黄灰色土 締り強。粘性有。2cm以下ロームブロック・粒やや多く含む。盛土
6. 暗黄灰色土 硬く締る。粘性有。6cm以下ロームブロック・粒多く含む。盛土
7. 黒褐色土 締り強。粘性有。黄灰色味が有る。5~30mmロームブロック・黒色土ブロック少しやや多く含む。盛土
8. 暗黄灰色土 締り強。粘性有。5~70mmロームブロック・5mm未満ローム粒多く。2cm以下焼土・1cm以下灰やや多く含む。盛土
9. 黒褐色土 締り有。粘性有。3cm以下ロームブロック・2cm以下焼土・6cm以下灰多く含む。明治の大火に関係する可能性がある
10. 暗褐色土 締り強。粘性有。3mm以下焼土・炭・5mm未満砂少し含む。比較的遺人物少ない。盛土
11. 暗黄灰色土 締り強。粘性有。6cm以下ロームブロック・粒多く含む。2cm以下焼土・炭化物少し含む
12. 黒褐色土 締り有。粘性有。2cm以下ロームブロック・粒少し含む
13. 黒褐色土 締り有。粘性有。12層より色調明るめ。5mm未満ローム粒少し含む
14. 黒褐色土 締り強。粘性有。13層より黒味が有る。3mm以下ローム粒・5~20mmロームブロックやや多く含む

遺構外



第81図 大井氏館跡遺跡第26地点調査区域図(1/300)、土層(1/60)、出土遺物(1/4)

第21章 本村遺跡の調査

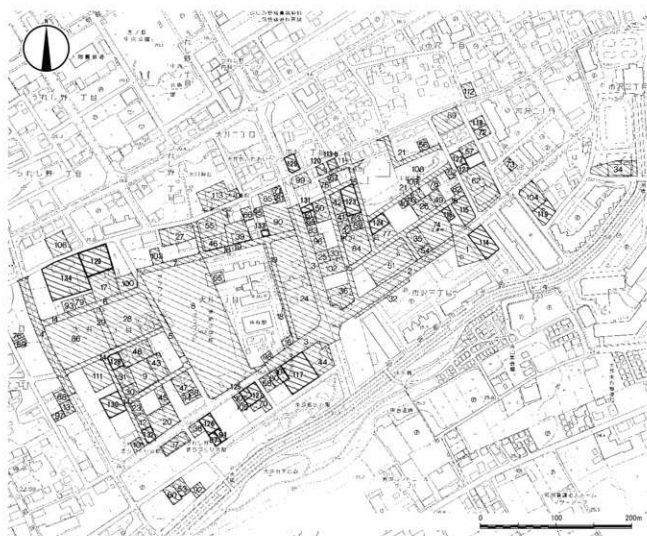
I 遺跡の立地と環境

本村遺跡は、東武東上線ふじ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15～20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。市内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心的な集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることができる。いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2018年4月現在134地点で調査を行い、旧石器時代の礫群・石器集中、縄文時代の落とし穴・炉穴、中世～近世の掘立建物跡・方形竪穴状遺構・井戸・溝・欄列・地下式墳・茶毘跡などを多数検出している。



第82図 本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第49表 本村遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間	1/3は埋蔵品調査	面積(m ²)	調査内容	確認された遺構と遺物	年代推定書
1	大井2-10, 市立3-1(神天橋1)	1985.8.27~30		2,000	農地転用	遺構遺物なし	なし
2	大井280-1(神天橋2)	1987.9.1~12.4		2,500	土地区画整理	旧石蔵、竈文・竈石、落土穴、土坑	大塚7
3	大井111、113-1、2、114-1、115-1、2(神天橋3)	1988.9.5~1989.1.13		3,600	土地区画整理	竈文・落土穴、土坑、中井・井戸、土坑、溝、竈石柱建物跡、地下式坑	大塚7
4	大井2-20 (東原1)	1978.7.27~8.5		40	初年度調査	遺構遺物なし	大塚12
5	大井2-20 (東原2)	1979.4.29~5.6		80	初年度調査	地下式坑、ピット、土坑	大塚12
6	大井2-20 (東原3)	1980.12.25~1981.1.5		110	初年度調査	竈文・落土穴、土坑	大塚12
7	大井186、189、191、192 (東原4)	1987.12.2~1988.2.29		1,272	土地区画整理	竈文・落土穴、中井・井戸、第六天	大塚7
8	大井141、144-1 (東原5)	1989.1.13~2.3		1,600	土地区画整理	中井・井戸、土坑、溝、竈石柱建物跡	大塚7
9	大井149、160、164-1 (東原6)	1989.5.15~6.15		1,565	土地区画整理	旧石蔵跡、竈文・落土穴、中井・土坑、溝	大塚7
10	大井134の1(東原7)	1989.8.7~11		500	土地区画整理	竈文・落土穴、竈文・落土穴、溝	大塚7
7	大井134	1988.9.11~10.1、1989.9.30~1991.7.11		13,161	小学校グラウンド	竈文・落土穴、中井・土坑、溝、竈石柱建物跡	大塚4・東原7
9	大井138	1989.12.4		200	ゲートポール調査	竈石散存	東原5
10	大井172-1	1989.2.21~28		500	駅前道路調査	竈文・落土穴	東原5
11	大井582-3	1990.2.27~27		370	駅前道路調査	旧石蔵の跡落ち込み	東原5
12	大井240、241-4	1990.5.8~9		340	個人住宅	土坑、竈石跡	東原5
13	大井180	1990.7.25~26		428	個人住宅	土坑	東原5
14	大井151、152、154~157	1990.9.17~10.31		2,160	土地区画整理	井戸2、土坑16、溝4	大塚7
15	大井100、109~109、144	1990.10.11~30		2,820	土地区画整理	井戸11、土坑16、溝6、竈石柱建物跡1	大塚7
16	大井102	1990.11.6~13		230	安産倉庫調査	井戸1、溝2	東原5
17	大井146、149	1991.1.7~7.3		1,270	事務所	旧石蔵・竈文、ブロック6、竈文・明穴4、地下式坑2、中井・楕円溝2、地下式坑1、楕円溝1	大塚3
18	大井105	1991.4.1~6.11		252	アスファルト工事	旧石蔵・楕円溝2、中井・井戸6、溝4、地下式坑5、土坑15	大塚3
19	大井109	1991.12.1~6.11		1,620	土地区画整理	旧石蔵・楕円溝2、中井・井戸6、溝4、地下式坑5、土坑16	大塚3
20	大井253-1	1991.5.21~6.14		1,150	個人住宅	井戸2、土坑3、溝1	野内1
21	大井81-3、304	1991.6.17~8.31		1,772	土地区画整理	井戸1、溝6、地下式坑2、土坑6、楕円溝1	大塚7
22	大井108、109	1991.7.15~31		110	個人住宅	竈文・溝、竈石、竈筒、方土3、瓦、竈筒、針金	野内1
23	大井169	1991.8.29~30		208	個人住宅	溝1	野内1
24	大井1102	1992.2.28~7.31		4,646	土地区画整理	旧石蔵・楕円溝、中井・井戸24、地下式坑10、竈石柱建物跡、溝6、土坑40	大塚7
25	大井107	1992.5.21		370	倉庫建設	ピット	野内5
26	大井588、309、3700~前	1992.12.1		573	個人住宅	遺構遺物なし	野内5
27	大井103	1992.10.27		1,103	個人住宅	遺構遺物なし	野内5
28	大井21-2、137、143、150、156、159、173-1	1992.12.1~1993.2.28		4,338	土地区画整理	竈文・土坑、中井・楕円溝2、井戸3、地下式坑7、竈石柱建物跡、土坑3、竈石・土坑6	大塚7
29	大井159	1993.3.20~6.4		330	土地区画整理	地下式坑2、ピット1、土坑1	大塚7
30	大井155	1993.2.27~7.30(1993.8.8~25)		411	個人住宅	井戸2、土坑1、ピット1	大塚7
31	大井154、155	1994.8.4~5		484	共同住宅	地下式坑2、溝1、土坑14	大塚7
32	大井351	1994.11.9~25		14,310	共同住宅	竈文・落土穴	野内5
33	大井107、427-1	1994.11.31		317	初年度調査	旧石蔵跡、土坑	野内5
34	大井333-5	1994.12.2~3		1,013	共同住宅	遺構遺物なし	野内5
35	大井357-1	1994.4.12		452	共同住宅	遺構遺物なし	野内5
36	大井101-9-10	1994.7.28~8.6(1994.9.2~10.31)		890	共同住宅	旧石蔵・楕円溝2、竈文・落土穴、土坑、中井・井戸2、溝3、土坑16、楕円溝1、ピット1	野内5
37	大井251	1994.8.31~9.29		596	事務所	遺構遺物なし	野内5
38	大井253	1994.8.30~9.7		264	個人住宅	中井・定石の溝1	野内5
39	大井124-1	1994.11.9~16		806	共同住宅	遺構遺物なし	野内5
40	大井137-1	1994.11.27		131	宅地分譲	遺構遺物なし	野内5
41	大井324	1994.11.31~12.19(1994.11.29~12.7)		614	宅地分譲	落土穴のゴミ穴	大塚12
42	大井326	1994.11.31~12.19(1994.12.9~12.7)		614	宅地分譲	落土穴のゴミ穴	大塚12
43	大井1532-3	1995.1.12~19.19(1995.2.23~2.29)		704	宅地分譲	竈文・土坑、中井・井戸1、土坑3、溝1、水漏跡	大塚12
44	大井287-1	1995.2.17~20(1995.4.10~5.25)		1,198	共同住宅	竈文・落土穴、土坑3、中井・井戸1、溝1、土坑1、楕円溝1	大塚12
45	大井253(南)	1995.6.17~37		324	個人住宅	竈文・落土穴、1、中井・溝5、土坑14、ピット23	野内5
46	大井126	1995.6.1~2.28		744	共同住宅	中井・土坑15、ピット2、南側旧石蔵	大塚12
47	大井251、255	1995.7.18~28		608	宅地分譲	土坑2	野内5
48	大井140	1995.9.18~10.19(1995.9.30~11.20)		1,122	宅地分譲	中井・井戸11、竈石柱建物跡7、地下式坑3、土坑14、楕円溝4、水漏	大塚12
49	大井333	1996.1.10~11(1996.1.16~2.3)		280	個人住宅	溝1、土坑5、ピット51、北側埋設穴2	野内5
50	大井106	1996.2.20~24		571	個人住宅	遺構遺物なし	野内5
51	大井350、360(8)	1996.3.21~7(1996.4.3~5.30)		2,412	共同住宅	旧石蔵、竈文・落土穴6、竈石土坑2、中井・井戸2、土坑11、溝1	大塚12・野内5
52	大井328	1997.4.10~25		140	倉庫	地下式坑3、竈石柱建物跡1、土坑6、ピット24	野内5
53	大井242-2、244-1、289-1	1997.4.17~6.25		275	個人・分譲住宅	楕円溝1、土坑4、竈石・溝4	野内5
54	大井3492-2	1997.4.11~17		207	個人住宅	遺構遺物なし	野内5
55	大井125-1、38-2	1996.5.23~30(1996.6.25~7.31)		936	共同住宅	旧石蔵・石蔵群2、楕円溝5、中井・溝1、土坑16、楕円溝1、土坑1	大塚12・野内5
56	大井302-1	1996.7.18~19(1996.7.24~8.7)		243	個人住宅	地下式坑1(2)地盤で確認(地下式坑)	大塚12・野内5
57	大井331	1996.8.28~29		300	共同住宅	遺構遺物なし	野内5
58	大井279、282	1996.12.24~1997.1.9		284	共同住宅	遺構遺物なし	野内5
59	大井365-2	1997.1.27		331	共同住宅	遺構遺物なし	野内5
60	大井329	1997.6.2~14		130	分譲住宅	竈文・溝5・ピット3	野内5
61	大井26	1997.6.4~14		134	個人住宅	井戸1	野内5
62	大井342	1997.6.30~7.1(1997.10.21~1998.1.20)		391	共同住宅	旧石蔵・楕円溝1、竈文・落土穴7、中井・井戸3、溝1、土坑16、楕円溝1、ピット1、地下式坑2、竈石柱建物跡、竈文・落土穴	大塚12・野内5
63	大井380	1998.10.31~11.11		154	個人住宅	遺構遺物なし	野内5
64	南沢2-8-2	1998.10.13~18		134	個人住宅	ピット1	野内5
65	大井1102-2	1998.1.6~13(1998.4.16~5.21)		391	学校建設	旧石蔵・楕円溝5、中井・溝1、土坑2、ピット13	大塚12
66	南沢2-8-9	1999.7.7~16		179	町屋新築	竈文・落土穴、ピット	野内5
67	南沢1-4	1999.3.25~26		140	個人住宅	遺構遺物なし	野内5
68	大井302	1999.4.17~21		302	個人住宅	落土穴1	野内5
69	大井4-5	1999.8.24		116	個人住宅	遺構遺物なし	野内5
70	大井23-7	1999.9.4		384	個人住宅	竈文・ピット1	野内5
71	大井2-7-3	1999.10.12		116	個人住宅	ピット	野内5
72	南沢12-12-1	1999.11.12		210	アスファルト転車場	ピット	野内5
73	南沢12-14-1	1999.11.12		156	個人住宅	遺構遺物なし	野内5
74	大井108-2-1+6-7	1999.11.19~19(1999.12.8~17)		1,495	共同住宅	中井・溝4、土坑2、ピット18、楕円溝1	野内5
75	南沢1-2	1999.7.7~16		179	個人住宅	遺構遺物なし(跡は多数埋没した黒色土)	野内5
76	大井1-4-6	1999.5.15~18		118	個人住宅	遺構遺物なし	野内5
77	南沢2-6-18-19	1999.7.27~8.2		538	町屋新築	ピット1	野内5
78	南沢2-6-6	1999.9.20		158	個人住宅	ピット2	野内5
79	大井23-9-4	1999.10.12~30		643	個人住宅	竈文・土坑1、ピット2	野内5
80	大井11-2	1999.10.26~30		204	個人住宅	竈文・土坑1、ピット1	野内5
81	大井2-7-3	1999.12.8~10		117	個人住宅	遺構遺物なし	野内5
82	南沢2-6-11	1999.12.9~10		171	個人住宅	遺構遺物なし	野内5
83	南沢2-8-4	1999.12.8~13		181	個人住宅	竈文・落土穴7、中井・楕円溝1、竈石柱建物跡1	野内5
84	南沢2-7-6	2000.2.2~16		1,310	共同住宅	竈文・落土穴7、中井・楕円溝1、竈石柱建物跡1	大塚15
85	大井2-7-2	2000.1.6		409	個人住宅	遺構遺物なし	野内5

地点	所在地	調査期間(1)は経路調査	面積(m ²)	調査状況	確認された遺構・遺物	所収報告書
86	大井2-19-1~4-14	(2000.4.19~5.11)2000.5.15~6.29	5,745	公衆浴場	古代・本館裏1、中世・塚田社建物の跡、掘削1、地下式竃5、井戸6、溝13、善願路3、土筑溝9?、橋脚2、ビット3	大綱15・町内X
87	大井2-12-2	(2000.5.31~6.3)	165	個人住宅	沼田川流域跡・ビット3	町内X
88	大井2-17-6	(2000.6.27~7.3)	150	個人住宅	沼田川	町内X
89	市沢2-11-1-2	(2000.7.19~8.31)	326	分譲住宅	溝文・溝文と穴1、イモビ	町内X
90	大井2-7-4-5	(2000.8.31~9.22)	540	店舗	溝文・溝文石1、古溝溝	町内X
91	大井2-12-2	(2000.9.25~27)	37	個人住宅	沼田川流域跡	町内X
92	大井2-14-11	(2000.10.10)	25	個人住宅	沼田川流域跡	町内X
93	大井2-20-9	(2001.2.16~21)	281	店舗	ビット	町内X
94	大井2-18-6	(2001.2.17~19)2001.2.20~3.6	87	個人住宅	中世・溝6、土筑1、ビット2、古世・溝4	町内X
95	大井2-7-10	(2001.3.6~9)	41	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
96	市沢2-8-5	(2001.7.10~13)	99	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
97	大井2-7-11	(2001.7.11~12)	41	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
98	大井2-9-3	(2001.7.12~19)	17	分譲住宅	遺構遺物なし	町内X
99	市沢2-1	(2002.6.19~21)2002.7.1~31	300	井部住宅	沼田川・溝6、石巻集中1、中世・土筑4、橋脚1	大綱15・町内X
100	大井2-20-7	(2002.8.20~26)	463	分譲住宅	遺構遺物なし	町内X
101	大井2-11-3	(2002.9.10~10.4)	217	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町内X
102	市沢2-8	2002.12.11~2003.2.10	1,264	共同住宅	溝文・溝文と穴1、古代以降・井戸7、柱穴別8、溝4、土筑11、溝田遺構	大綱15
103	大井143	(2003.2.13~18)	237	個人住宅	土筑1、ビット1	町内X
104	市沢3-4-1	(2003.5.14~30)	804	共同住宅	溝文・溝穴4、中世・掘削遺構、地下式竃2、溝3、土筑4、ビット3	町内X
105	大井2-12-4	(2003.6.4~6)	131	個人住宅	土筑1	町内X
106	大井2-1-11	(2003.7.2~8)	135	分譲住宅	遺構遺物なし	町内X
107	大井2-12-4	(2003.7.3~5)	130	個人住宅	溝1、土筑1、ビット1	町内X
108	市沢2-6-25	(2003.7.17~23)	109	個人住宅	ビット1	町内X
109	市沢2-6-26	(2003.7.17~23)	114	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
110	市沢2-6-27	(2003.10.16~18)	101	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
111	大井2-16-2	2003.11.21~12.11	1,033	分譲住宅	溝文・溝穴1、黒部本館2、中世・土筑1、地下式竃2、土筑1、大綱21	大綱21
112	市沢2-12-16	(2004.7.27)	289	共同住宅	遺構遺物なし、ビット10	町内X
113	大井2-4-8	2002.8.22	1,051	駐車場兼店舗	遺構遺物なし	町内X
113B	市沢2-3	(2005.5.9~10)	27	個人住宅	橋脚の一部	市沢2
114	市沢2-2-1-2	(2005.10.21~28)	179	分譲住宅	遺構遺物なし	市沢2
115	市沢2-10-6	(2005.11.21~29) 2005.12.19~2006.1.31	120	分譲住宅	中世・塚田社建物の跡、井戸、土筑、ビット、溝	市沢2
116	市沢2-10-4の一部分	(2006.1.17)	9	個人住宅	遺構遺物なし	市沢2
117	大井2-11-4-6	(2006.3.22~4.14)	1,487	店舗	溝、土筑、橋脚	市沢2
118	市沢2-12-13	(2006.5.24~25)2006.5.25	80	個人住宅	溝文と穴1、穴1	市沢3
119	市沢2-4-24	(2006.5.27~6.4)2006.6.4~25	559	共同住宅	中世・地下式竃2、土筑16、ビット58	市沢5・6
120	市沢2-2	(2006.12.18)	141	個人住宅	遺構遺物なし	市沢6
121	市沢2-11-9	(2009.4.22)	150	個人住宅	遺構遺物なし	市沢8
122	市沢2-11-8-26-27	(2009.5.27~6.3)	101	分譲住宅	中世・塚田社	市沢8
123	市沢2-2	(2010.7.5~9)	615.57	宅地造成(4区画)	遺構遺物なし	市沢10
124	市沢2-6-1	(2010.7.8~12)2010.7.12	428	宅地造成(3区画)	中世・土筑1	市沢10
125	大井2-12-17	(2010.9.6)	143	個人住宅	遺構遺物なし	市沢10
126	大井2-12-2	(2010.10.4~6)	611	個人住宅	遺構遺物なし	市沢10
127	市沢2-12-5-16-18	(2011.1.4~8)	413	分譲住宅	遺構遺物なし	市沢10
128	大井2-18-1	(2014.1.17~27)	327	分譲住宅	中世・溝2、井戸1、ビット9	市沢10
129	市沢1-8	(2014.8.28)	262	個人住宅	遺構遺物なし	市沢15
129	大井2-20-4	(2015.11.5~13)	1,253.99	宅地造成	ビット1、掘削跡	市沢22
130	大井2-16-17	(2015.11.16~20)	726	分譲住宅	中世・ビット3、土敷片	市沢22
131	市沢2-8-2	(2016.6.4~8)	135.18	共同住宅	遺構遺物なし	市沢22
132	大井2-17-9	(2016.8.4~5)	219	分譲住宅	溝1、陶器片	未報告
133	大井2-7-6	(2016.10.11)	107.54	専用住宅	ビット3、遺物なし	未報告
134	大井2-20-2-3-9	(2017.6.5~19)	2,670.63	宅地造成 (開発業者発注)	遺構遺物なし	未報告

大綱—大井町遺跡調査会、大沢—大井町史料、市沢—市沢遺跡調査会、町内—町内遺跡調査会、市内—市内遺跡調査会

II 本村遺跡第129地点

(1) 調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2015年8月20日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年11月5日～13日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.5～1.7mのトレンチ9本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約30～100cmである。

調査の結果、ビット1基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

また、トレンチ6・9以外で旧石器時代の調査を実施した。1m四方のトレンチを2.5～3m間隔を基本として設定し掘削を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

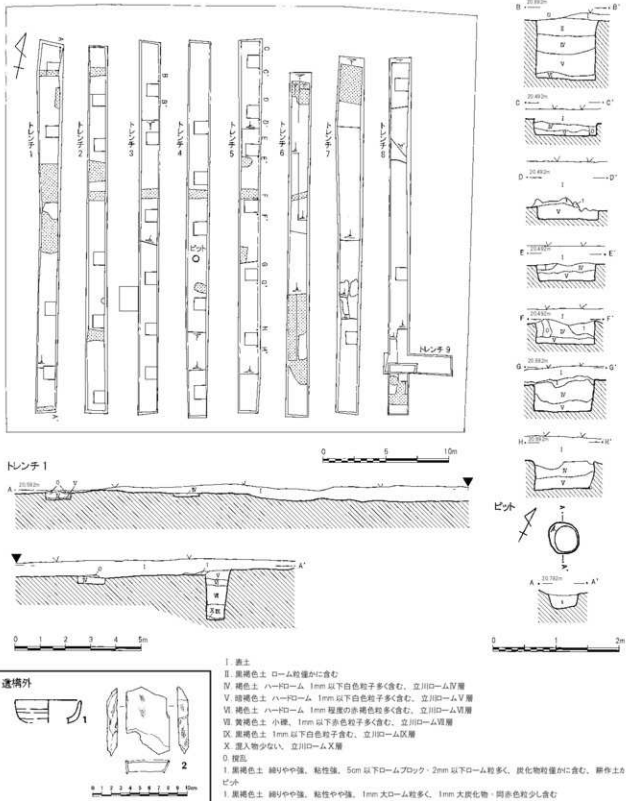
(2) 遺構と遺物

①ビット

ビットは調査区中央部、トレンチ4で検出した。平面形態は円形で、遺構の規模は確認直径49×47cm、底径41×36cm、深さ27.1cmである。土層の観察より中近世以降と推測される。出土遺物はない。

②出土遺物

出土遺物は2点で、どちらも遺構外の表土中より出土した。1は陶器小坏の破片である。推定口径は(7.0)cmで高台等は欠損しているため不明である。内外面に灰釉を施す。瀬戸・美濃産で18世紀後半～19世紀に帰属するものと考えられる。2は砥石の破片で、長さ(7.1)cm、幅4.5cm、厚さ(1.0)cm、重量43.35gである。にぶい赤褐色の粘板岩製で、3面に使用痕が確認できる。近世以降と考えられる。



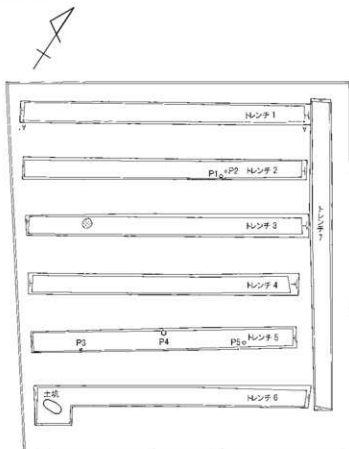
第 83 図 本村遺跡第 129 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/60・1/150)、ピット (1/60)、出土遺物 (1/4)

III 本村遺跡第 130 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 10 月 23 日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 11 月 16 日～20 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.5～1.7m のトレンチ 7 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50～60 cm である。

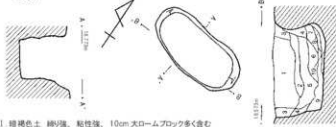
調査の結果、土坑 1 基とピット 5 基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は実施していない。



トレンチ 1



土坑

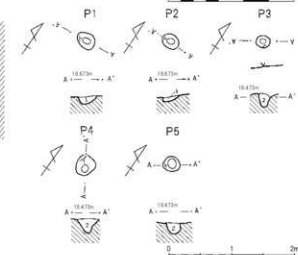


- 1 暗褐色土 粘り強、粘性強、10cm 大ロームブロック多く含む
土坑
1 暗褐色土 粘り強、粘性強、1mm 大ローム粒多く含む
2 暗褐色土 粘り強、粘性強、1層+4cm 以下ロームブロック多く、黒色土シズに含む
3 暗褐色土 粘り強、粘性強、1mm 以下ローム粒少し含む
4 暗褐色土 粘り強、粘性強、3層+ローム粒多く、黒色土シズに含む
5 暗褐色土 粘り強、粘性強、2cm 以下ロームブロック・1mm 以下ローム粒少し含む
6 黄褐色土 粘りやや強、粘性強、2mm 以下ローム粒集中
7 黄褐色土 粘りやや強、粘性強、2cm 以下ロームブロック集中
8 黒色土 粘り強、粘性強、1mm 以下ローム粒僅かに含む
9 暗褐色土 粘り強、粘性強、1mm 以下ローム粒少し、硬塊入る
10 暗褐色土 粘り強、粘性強、2cm 以下ロームブロック・1mm 大ローム粒少し、黒色土シズに状に、小硬塊入る

ピット

- 1 黄褐色土 粘りやや強、粘性やや強、3cm 以下ロームブロック多く含む
2 暗褐色土 粘り強、粘性強、1mm 以下ローム粒多く含む

遺構外



第 50 表 本村遺跡第 130 地点ピット一覧表 (単位 cm)

新No	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	円形	31×25	13×10	13
2	円形	28×21	11×10	12
3	円形	21×18	10×7	20
4	方形	33×32	11×10	22
5	円形	27×23	16×13	16

第 84 図 本村遺跡第 130 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、土坑・ピット (1/60)、出土遺物 (1/4)

(2) 遺構と遺物

①土坑

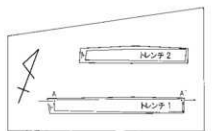
土坑は調査区の南西、トレンチ6の西端で検出した。平面形態は楕円形で、遺構の規模は確認面径161×72cm、底径141×65cm、深さ79.6cmである。土層の観察から近世以降に帰属するものと考えられる。出土遺物はない。

②ピット

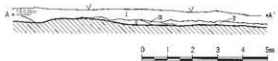
調査区内で検出した5基のピットの詳細については第50表に掲載した。いずれも土層の観察から中近世以降のものと思われる。出土遺物はない。

③出土遺物

遺構外で小型の深鉢土器の底部破片が出土した。底径は推定約6.5cmで、外面及び底部に丁寧にミガキを施す。胎土に黒色粒子と微細な白色粒子を含む。底部中心の厚みがなく、最も薄い部分では5mm程度である。縄文時代中期か。



トレンチ 1



- I. 黄褐色土 砂り弱、粘り有、2mm以下ローム粒僅かに含む、耕作土
 II. 黄褐色土 砂り弱、粘り有、ローム埋土
 III. 黄褐色土 砂り弱、粘り有、I層とII層が交互する層

第85図 本村遺跡第131地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

IV 本村遺跡第131地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2016年3月1日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや北側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年3月4～8日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

本地点は埋没河岸の上に位置しており、大井・苗間第一土地区画整理時に黒色土を全て掻き取り、ローム質の黄褐色土と黒色土を盛土している。調査の結果、現地表面から80cm下でも地山ローム層は確認できなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第22章 東台遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東台遺跡は東武東上線ふじみ野駅の南約1km、砂川堀右岸の台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は24～26mで砂川堀との比高差は約5mで急崖を成し、左岸が緩やかな傾斜を成すのとは対照的である。

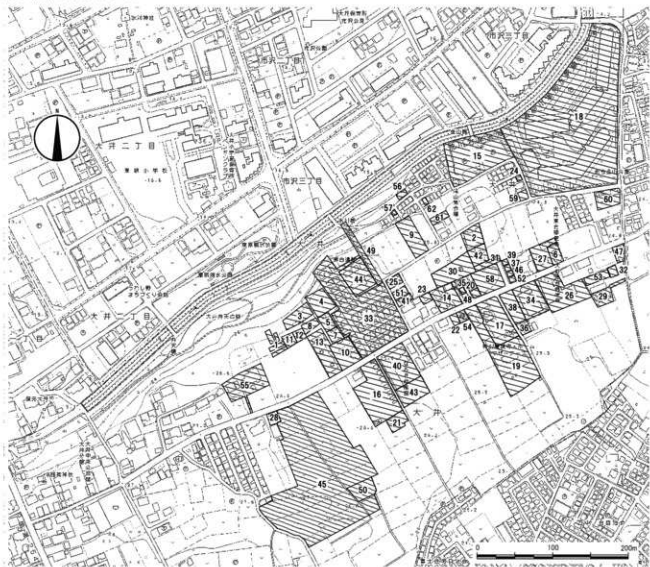
遺跡内には砂川堀に向かって小さな埋没谷が数本確認されている。遺跡の範囲は東西700m、南北250m、遺跡面積約170,000㎡、市内で最大規模の遺跡であり、約17%の30,000㎡を調査している。

2018年4月現在、62地点で調査を行っている。旧石器時代の調査では、第18地点の調査で埋没谷に沿った崖沿いにⅥ・Ⅶ層～Ⅳ層下部のナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。

縄文時代の調査では、住居跡等多数の遺構と遺物が確認されている。特に中期の住居跡は双環状に配置しており武蔵野台地縁辺部における拠点集落の一つである。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第15・18地点で8世紀後半の製鉄炉や木炭窯など、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺跡を検出している。

周辺の遺跡は、砂川堀右岸の西約50mに大井戸上遺跡、西約300mに旧石器時代の西台遺跡が位置する。また、砂川堀を挟んだ左岸に旧石器時代～近世の本村遺跡と大井氏館跡遺跡が位置する。今後、旧石器時代では西台遺跡・本村遺跡との関係が、奈良・平安時代から中世にかけては本村遺跡、大井氏館跡遺跡との関係が注目される。



第86図 東台遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第51表 東台遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間(又は試掘調査)	面積(m ²)	調査内容	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井東台	1981.		町史編纂	遺構なし。縄文中期土器	
2	大井東台640-4	1981.12.14～1982.2.13	667	宅地造成	縄文中期住居跡12、旧石器時代石器	表Ⅱ
3	大井東台672	1982.5.19～6.15	666	宅地造成	伊7. 土坑2、柱穴群	表Ⅳ
4	大井東台671	1982.6.17～11.18	587	農地転用	旧石器ユニット、縄文中期住居跡3、後期住居跡1、集石4、土坑14、溝	表Ⅴ
5	大井東台	1983.7.25～8.9	195	町史編纂	縄文中期住居跡2、土坑1	東台遺跡
6	大井東台	1984.1.9～1.12		宅地造成	縄文中期住居跡1	
7	大井東台670-2	1984.5.15～6.13		共同住宅	縄文中期住居跡4、後期住居跡1	
8	大井東台672	1984.8.18～9.21	345	町史編纂	縄文中期住居跡1、伊穴2、土坑14	東台遺跡Ⅱ
9	大井東台	1984.10.25～1985.2.15	1,000	駐車場	旧石器群、縄文中期住居跡22、後期住居跡1、伊穴、ピット群	町Ⅰ
10	大井東台670-1	1985.10.1～11.25	896	住宅	縄文中期住居跡5、土坑5	表Ⅵ
11	大井東台673	1986.1.14～3.20	660	宅地造成	縄文中期住居跡2、集石土坑3、土坑1、ピット	表Ⅶ
12	大井東台673	1987.5.6～6.26	330	転地戻し	縄文中期住居跡1、土坑18、平安時代住居跡2、溝1	表Ⅷ
13	大井東台670-6	1988.1.14～2.27	971	倉庫	縄文中期住居跡9、集石1、土坑9、ピット30	表Ⅷ
14	大井東台649-16他	1988.1.27～2.24	735	住宅	縄文中期住居跡12、厨外埋壁1、集石土坑1、土坑8、ピット38	表Ⅸ
15	大井市7577-1他	(1989.10.17～11.10)1989.11.17～1990.8.1	700	住宅	溝と土坑1、木炭灰1、粘土採掘坑2、奈良・平安土器	表Ⅹ
16	大井713-4-5	(1990.8.1)～(4)	3,048	資材置場	縄文中期住居跡1、土坑1	表Ⅺ
17	大井621-1	(1990.9.5～12)1990.10.9～12.27	1,470	診療所	縄文中期住居跡1、土坑30、ピット94、楕円	表Ⅻ
18	大井529-1, 588	(1991.3.11～5.20)1992.2.24～1994.7.5	20,000	共同住宅	旧石器群、石器集中17、溝と土坑1、野間製鉄伊7、木炭灰9、採掘坑4、土坑9、溝、楕円、道脇溝、平安土器	東台製鉄遺跡
19	大井621	(1992.5.31～6.7)	4,489	特養施設	縄文中期住居跡8	町1
20	大井649-27	1992.1.30	5	個人住宅	縄文中期住居跡1	町Ⅱ
21	大井713-11-12	1992.3.7～11	299	個人住宅	遺構無し。縄文土器片	町Ⅲ
22	大井651-6	(1994.5.10～11)1994.5.30～7.30	146	店舗	縄文中期住居跡8、土坑1	鎮Ⅲ集
23	大井649-12-13	(1995.6.23～27)	285	個人住宅	縄文中期住居跡2	町Ⅳ
24	大井634-20	(1995.7.6)	58	個人住宅	縄文時代集石、土坑	町Ⅳ
25	大井648-13-14	1995.10.22～12.16	296	個人住宅	縄文中期住居跡5、後期住居跡1、袋状土坑1、土坑10、ピット6	町Ⅳ
26	大井東台601-1-4-5	(1996.11.6～18)1997.1.14～3.18	2,248	共同住宅	縄文中期住居跡1、土坑3、溝と土坑1、ピット24	鎮Ⅲ集
27	大井600-1	(1997.1.19)1997.2.19～3.14	965	個人住宅	縄文中期住居跡1、伊穴1、土坑1、溝と土坑1、ピット44	町Ⅴ
28	大井東台710-4	(1997.3.17～19)	231	個人住宅	遺構なし。縄文土器片	町Ⅵ
29	大井東台606-3	(1998.2.27～3.31)1998.3.4～5	500	個人住宅	縄文中期伊穴9、ピット2	町Ⅶ
30	大井640-1	(1998.11.4～12)	1,330	駐車場	縄文中期住居跡1、厨外伊穴、ピット	町Ⅷ
31	大井630-3, 640-8	(1999.5.7～21)	186	道脇築造	縄文中期住居跡2	町Ⅷ
32	大井603-1	(2000.8-9)	92	製紙工場	ピット3	町Ⅷ
33	大井662-1	(2000.8.4～8)2000.8.10～2001.1.25	7,076	分譲住宅	石面群4、埋壁4、縄文中期住居跡30、後期住居跡4、竪立柱状建物跡1、伊穴14、集石土坑4、溝	町Ⅷ
34	大井東台624-2	(2002.1.32～25)2002.3.26～5.8	1,414	共同住宅	縄文中期住居跡5、土坑11、ピット16	町Ⅷ
35	大井東台649-31	(2001.9-6)	48	個人住宅	縄文中期住居跡1	町Ⅷ
36	大井東台614	(2001.10.15～11.2)	272	倉庫	ピット5、土器片	町Ⅷ
37	大井東台626-12	2001.10.12～11.5	100	個人住宅	縄文中期住居跡2、ピット1	町Ⅷ
38	大井東台614-3	(2002.1.28～2.15)	787	駐車場	縄文中期住居跡1、壁穴遺構1、集石土坑2、土坑2、ピット2	町Ⅷ
39	大井626-8	(2002.6.3～20)	100	個人住宅	ピット3、縄文土器片、石器	町Ⅷ
40	大井661	(2003.10.6～11.4)	1,875	幼稚園	土坑6、ピット10、楕円	町Ⅷ
41	大井東台648-4	(2004.5.11～14)	182	個人住宅	縄文中期住居跡3、集石1、土坑1、厨外ピット1	町Ⅷ
42	大井640-7	(2004.9.7～17)	515	教会	縄文中期住居跡2、溝と土坑1、土坑3、ピット20	町Ⅷ
43	大井東台661-6	(2005.1.13)	964	駐車場	ピット4	町Ⅷ
44	大井東台664-15	2005.12.8～28	200	個人住宅	縄文中期住居跡1、後期住居跡2、土坑5、ピット9	市2
45	大井東台710-1, 711-1, 717-1+2	(2006.5.31～9.1)2006.9.8～2007.3.7	7,971	東台小学校	縄文中期住居跡1、後期住居跡2、土坑5、ピット10	市3
46	大井東台626-11	(2006.9.4～6)2006.9.15～28	100.02	個人住宅	縄文中期住居跡2、集石2、土坑1	市3
47	大井東台602-4-5	(2006.9.19～20)	320	個人住宅	遺構遺物なし	市3
48	大井東台649-21	(2007.1.16～26)	60	個人住宅	縄文中期住居跡3	市3
49	大井東台646, 647-1, 665	(2008.1.28～3.30, 2.4～19)2008.1.31～2.1	174	東台小学校 池子分室跡	縄文時代中期～後期住居跡1棟出・5軒を確証、厨外埋壁1、粘土採掘坑1、土坑1、ピット1、溝6	市4
50	大井東台716-1の一部	2008.7.14～22	646	東台小学校 プール	遺構遺物なし	市6
51	大井東台648-2	(2009.3.10～18)2009.3.18～5.7	296	個人住宅	縄文時代中期住居跡6、土坑4、ピット14、縄文土器、石器	市6
52	大井東台626-8-14	2009.5.12～19	100	分譲住宅	縄文中期中期住居跡2埋壁	市8
53	大井東台603-1	(2011.8.8～18)	1,251	工場	井戸1、縄文土器	市14
54	大井東台651-6-13+14	(2011.9.5～12)	309.3	店舗	縄文時代住居跡1、縄文土器	市14
55	大井東台694-2-3	(2011.9.20～22)	1,268	個人住宅	遺構遺物なし	市14
56	大井東台字市沢296-4	(2012.1.11)	59.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市14
57	大井東台644-9-1の一部	(2013.4.5～10)	31.4	個人住宅	遺構遺物なし	市18
58	大井東台625-1	(2014.7.3～8.4)	1,175.47	店舗	縄文時代住居跡15、土坑3、縄文土器、石器	市20
59	大井東台633-6	(2014.7.15)	145.91	個人住宅	遺構なし、土器片	市20
60	大井597	(2015.7.7)	687.77	個人住宅	遺構なし、土器片	市22
61	大井東台639-25	(2016.9.21)	249.00	個人住宅	ピット2、縄文土器、石器	市22
62	大井東台638-17	(2017.12.25)	57.96	個人住宅	納戸不明ピット1、遺物なし	東報告

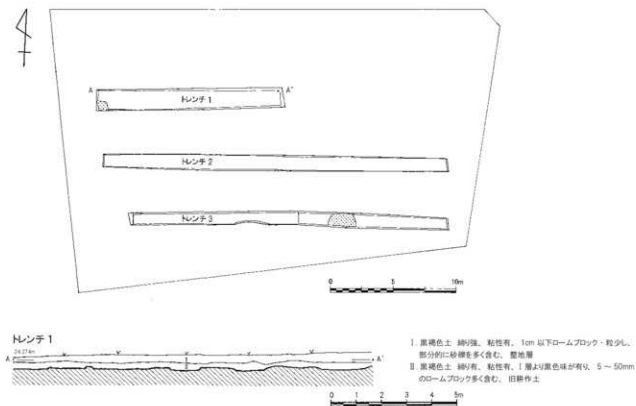
※東:大井町東部遺跡群、町:大井町東部遺跡群、町Ⅰ:大井町史資料編1、調査報告書:大井町遺跡調査会報告、市:ふじみ野市市内遺跡群

II 東台遺跡第60地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年6月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年7月7日に試掘調査を実施した。調査は幅約1～1.5mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面より30～45cm下で地山ローム層を確認した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。



第87図 東台遺跡第60地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

第23章 まとめ

2015年度は試掘調査が48件、うち本調査となったものが8件であった。ハケ遺跡第19地点、及び第20地点については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第22集『市内遺跡群21』（2018年3月刊行）で、その他の本調査についてはふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』（2017年3月刊行）にて報告済みであるため割愛する。よって今回は上記以外の地点について時代ごとに概観する。

【縄文時代】

縄文時代の遺構としては、まず西遺跡第2地点及び第3地点が挙げられる。第2地点で3軒、第3地点で3軒の縄文時代住居跡を検出した。いずれも本調査は実施していないため詳細は不明であるが、覆土中の出土遺物から概ね縄文時代中期の勝坂Ⅱ～加曾利EⅡ式期にまとまるものと考えられる。特に第3地点は1992年及び2007年に調査を実施した第1地点に隣接しており、同一の集落であると考えられる。今回の2地点の調査によって、さらに西遺跡の縄文時代中期中葉から後葉にかけての集落範囲の広がり確認できた。

もう1点特筆すべきは西ノ原遺跡第164地点の調査である。今回の調査では縄文時代中期の屋外埋裏を1基検出した。埋設されていた土器は口径47.2cmを測る大型土器である。逆位に埋設されており、底部を欠損するという特徴を持つ。本地点の北側に隣接する第19地点及び南側に隣接する第70地点の調査でも屋外埋裏を検出している。1996年刊行の『西ノ原遺跡』によれば、両地点合わせて6基の埋裏を確認しており、いずれも加曾利EⅡ式期か並行関係にある曾利Ⅲ式期に該当する。また、6基とも逆位で埋設されており、他の遺構と複合しないという特徴を有する。本地点の屋外埋裏も時期・特徴ともに共通しており、両地点と合わせて一体を成すものと考えられる。大型の埋設土器を有する土坑は墓塚であった可能性が指摘されている。仮にいずれの埋裏を墓塚であるとすれば、本地点を含めた一帯は墓域であったと考えられる。今回の調査は西ノ原遺跡の集落における居住域と墓域との関係を考える上で、貴重な発見であったと言える。今後の調査に期待したい。

【古代】

古代の遺跡としてはまず滝遺跡第26地点及び第27地点が挙げられる。両地点合わせて3軒の住居跡を検出した。出土遺物から42号住居跡、44号住居跡は7世紀後半、43号住居跡は8世紀中頃に位置づけられる。滝遺跡のこれまでの調査成果から、古墳時代前半期（4世紀代）と後半期（6世紀）、そして7～8世紀にかけての住居跡が確認されている。特に7世紀後半から8世紀にかけて増加傾向にあり、今回の調査結果もこれを補強する。滝遺跡は、遺跡範囲に対して調査面積が多くないため、今後の調査が進めば集落の全体像の解明だけでなく、隣接する権現山古墳群との関連や、長宮遺跡、松山遺跡との関係などが明らかになるであろう。

川崎遺跡第42地点では平安時代の住居跡1軒を検出した。プランのみ検出のため遺構の詳細は不明だが、覆土上層から出土した土器から9世紀後半頃と考えられる。川崎遺跡では、現在までに古墳時代から平安時代中頃までの住居跡を80軒確認している。中でも8世紀の後半から10世紀初頭にかけて連続と集落が形成される傾向にある。特に今回検出した住居跡と同時期である9世紀代の住居跡が、現在判明している中で最も多い。また、緑釉陶器、灰釉陶器、墨書土器が出土する住居跡や掘立柱建物跡も確認されており、古墳時代から10世紀後半まで続く集落形成の中で最盛期であったと考えられる。

松山遺跡第84地点では、第45地点の調査で検出したH35号住居跡の北西隅を確認した。第45地点の調査では南側1/2の調査であったため、遺構の規模が明らかになっていなかったが、今回の調査で504×480cmの住居跡であることが判明した。

【中近世・近代】

中近世にかけては各地点で多くの溝及び堀跡を確認した。以下に特筆すべき地点について言及する。

まず滝遺跡第26地点では溝2条を検出した。そのうち、北側に位置する溝1は東西方向に走行する。溝の性格や時期は不明であるが、規模や走行方向から、本地点の東側約50mに位置する第14地点で検出した溝2と同一である可能性が高い。

松山遺跡第82地点では南北方向に走行する堀跡1

本を検出した。断面は葉研状を呈している。これまでの調査で、1999年試掘-5、2001年試掘-3、2004年試掘-5、第43、45、62、64地点の各地点において確認された堀跡に続くものである。土層の観察から耐水していた形跡が見られないため、水路のような役割ではなかったものと考えられる。第43地点以北に関しては本調査であるため、全長がどのくらいの規模であったかは判然としない。しかし1795(寛政6)年の「福岡村・中福岡村・福岡新田絵図面」(富田初美家文書)を見ると、江川から北側の田んぼへ水を引くための用水が描かれている。現在も残る長宮氷川神社の位置や古い道路等を踏まえて考えると、今回第82地点で検出した堀跡はこの絵図面に描かれた用水路に当たる可能性が高い。今後、北側部分の調査が進むと全容が明らかになるだろう。

近代では、大井氏館跡遺跡第26地点の調査で大井宿関連の遺物等を確認した。特に遺構は確認されなかったが、調査区南側のトレンチ内で炭化物と焼土が集中する土層が確認された。おそらく明治期に大井宿で起きた3度の大火に関連するものと考えられる。3度のうち、どの時期の火災が原因なのかはわからないが、本地点は大井宿下組に位置していることから、下組で被害の出た1度目または2度目の火災に関連するものではないかと推測できる。

最後にハケ遺跡第16地点出土人物埴輪の破片分析について報告する。ハケ遺跡第16地点は新河岸川右岸に位置し、隣接する第19地点と合わせて古墳時代後期の古墳群である。本地点では、周溝の一部から人物埴輪をはじめとする多量の埴輪が出土し、これをハケ遺跡古墳群1号墳とした。調査の詳細については、『ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第22集 市内遺跡群21』の中で報告済みである。今回、平成31年1月23日付で市指定文化財に指定された人物埴輪7点に使用された胎土の産地を特定するための調査として、海綿骨針(白色針状物質)混入の有無の調査を埼玉県立川越女子高等学校の松岡喜久次氏に依頼した。結果として、わずかではあるが海綿骨針(白色針状物質)が確認された。このことから、ハケ遺跡古墳群1号墳出土の人物埴輪は、比企丘陵の土を使用して製作されたことが判明した。通常、材料となる粘土等は製作地の近辺で調達したものと考えられるため、これらの人物埴輪も比企丘陵の近くの工房で製作されたものである可能性が一段と高くなった。

〈参考文献〉

- ・大井町史編さん委員会編 1988 『大井町史 通史編 下巻』
- ・大井町遺跡調査会編 1996 『西ノ原遺跡』
- ・上福岡市教育委員会・上福岡市史編纂委員会編 2000 『上福岡市史 通史編 上巻』
- ・埼玉県大井遺跡調査会 2009 『大井遺跡調査報告第21集 中沢前遺跡1・本村遺跡V・大井宿遺跡1』

附編

ふじみ野市ハケ遺跡出土の埴輪の破片の分析

松岡喜久次（埼玉県立川越女子高等学校）

1 分析対象

A：14 ハケ 16-H5

B：14 ハケ 16-No.13



2 分析方法

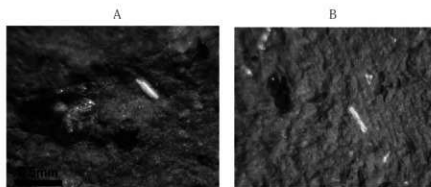
(1) 表面観察

(2) 切断面の観察と薄片の作成による鉱物観察

(3) 試料の粉碎とフッ化水素酸で処理し、残渣の観察

3 分析結果

(1) 表面観察



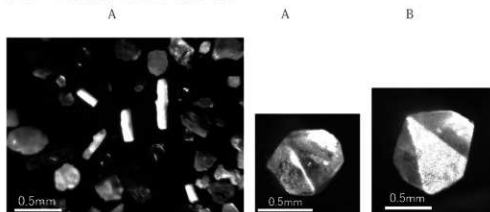
AとBの試料の表面に、白色の針状の物質（海面骨針）がわずかに確認できた。
長さは、それぞれ0.3mmである。

(2) 切断面の観察と薄片の作成による鉱物観察



AとBのそれぞれの試料には、多くの砂粒子が混在している。石英、チャート岩片が多く、長石、輝石、砂岩岩片、結晶片岩岩片が少量みられる。石英の外形は角ばっているが、チャート岩片はやや丸い。

(3) 試料の粉碎とフッ化水素酸で処理し、残渣の観察



試料Aの残渣から5本、試料Bの残渣から1本の海面骨針が見つかった。海面骨針は白色の円筒形をし、長さ0.5mmである。放散虫化石はみつからなかった。また、試料AとBから丸い石英や六角錐をした石英が多数見つかった。六角錐をした石英は、本来12面体の形をした高温石英の結晶であるが、一部が欠けている。

4 考察

海面骨針の産出はわずかであったが、埴輪の胎土に海面骨針が含まれる土が使われたと考えられる。松岡・鈴木(2014)および松岡(2014)は、須恵器から多くの海面骨針や放散虫化石を抽出し、比企丘陵に露出した粘土が胎土として利用されたと推定した。海面骨針を多く含む土は、深海性で放散虫化石を含む可能性が高い。埴輪の破片を大量に処理すれば、放散虫化石が見つかると考えられる。埴輪に海面骨針が含まれていることは、これまでの研究から比企丘陵で製作されたものとするのが妥当である。

また、高温石英の結晶が多数見つかったことから、高温石英を含む胎土を利用したことが明らかとなった。大澤ほか(1993)により比企丘陵の南東部において高温石英を含む火山灰質シルト層が発見されている。この地点は東松山市の桜山埴輪窯跡の近隣にあることから、桜山埴輪窯跡の周辺にも高温石英を含む火山灰質シルト層が露出していたと考えられる。

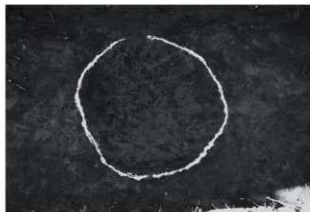
以上のことから、埴輪の胎土は比企丘陵の海面骨針を含む土と高温石英を含む火山灰質シルト層の土が利用されたと考えられる。一方、チャート、砂岩および結晶片岩の岩片は、都幾川や越辺川により由来されたものと考えられる。

文献

- 松岡(2014) 須恵器に含まれる海綿骨針について、地学教育と科学運動, 73: 53 - 56.
 松岡喜久次・鈴木紀毅(2014) 須恵器(土器)から発見された中新世中期の放散虫化石と胎土の起源となった層準の推定、地球科学, 109: 114.
 大澤 進・楡井 尊・間室幸仁(1993) 岩殿丘陵より産出した *Fagus microcarpa* を含む植物化石群、埼玉県立自然史博物館研究報告, 11: 7376.



鶴ヶ岡遺跡第7地点調査風景



鶴ヶ岡遺跡第7地点土坑完掘状況



鶴ヶ岡遺跡第7地点トレンチ8



鶴ヶ岡遺跡第7地点出土遺物



西遺跡第2地点24号住居跡



西遺跡第2地点25号住居跡



西遺跡第2地点26号住居跡



西遺跡第2地点土坑1